

ドミニカ共和国
ラジオテレビ放送網拡充計画
事前調査報告書

昭和59年6月

国際協力事業団

LIBRARY

開三
84-051

ドミニカ共和国
ラジオテレビ放送網拡充計画
事前調査報告書

JICA LIBRARY



1029841[2]

昭和59年6月

国際協力事業団

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 9. 21	608
	647
登録No. 10709	SDS

は し が き

日本国政府は、ドミニカ共和国政府の要請に基づき、同国のラジオテレビ放送網拡充計画にかかる調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施した。

当事業団は、本格調査の範囲、実施時期、実施方法等につき、ドミニカ共和国政府関係者と協議することを目的として郵政省電波監理局無線通信部陸上課検査官塚田宏氏を団長とする事前調査団を昭和59年3月31日から同年4月13日までの14日間にわたりドミニカ共和国に派遣した。

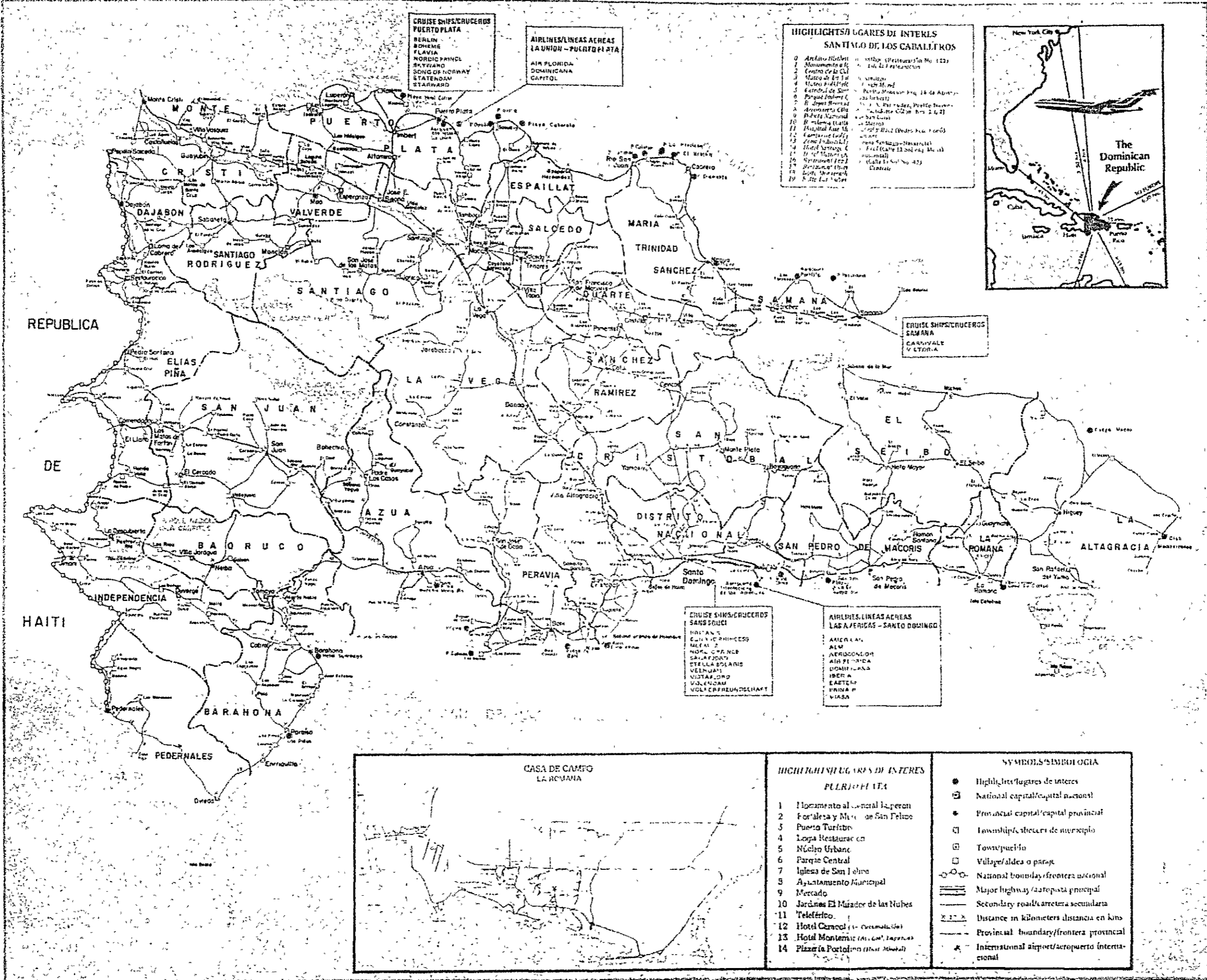
同事前調査団は、ドミニカ共和国政府関係者と Scope of Work を協議し、合意を取りつけるとともに、現地踏査ならびに本格調査に必要な各種資料の収集を行った。

本報告書が、今後実施される本格調査の計画立案および実施にあたり参考となることを期待するとともに、今回の調査の実施にあたり多大のご協力をいただいたドミニカ共和国政府、在ドミニカ共和国日本大使館、在ドミニカ(共)電気通信専門家各位および関係各機関に対し厚くお礼を申し上げる次第である。

昭和59年6月

国際協力事業団

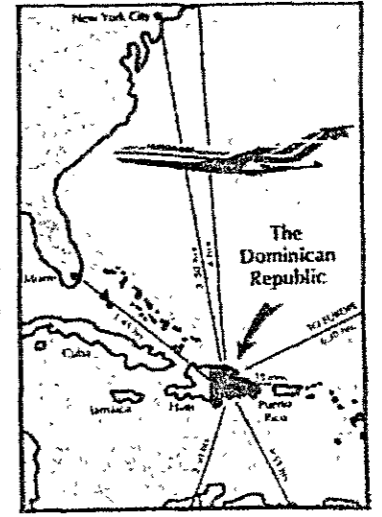
理事 中 澤 弼 仁



**CRUISE SHIPS/CRUCEROS
PUERTO PLATA**
BERLIN
BOHEME
FLAVIA
NORDIC PRINCE
SKYWARD
SONG OF NORWAY
STATENDAM
STARWARD

**AIRLINES/LINEAS AEREAS
LA UNION - PUERTO PLATA**
AIR FLORIDA
DOMINICANA
CAPITOL

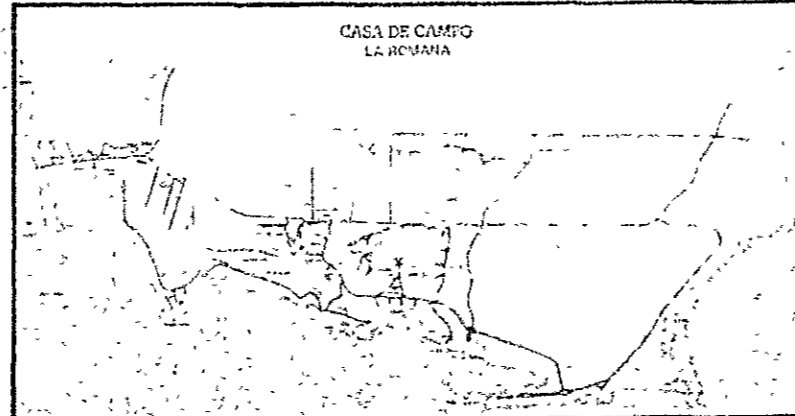
- HIGHLIGHTS/LUGARES DE INTERES
SANTIAGO DE LOS CABALLEROS**
1. Arco de Héroes
 2. Monumento a la Libertad
 3. Museo de la Libertad
 4. Museo de la Independencia
 5. Plaza de Armas
 6. Plaza de la Independencia
 7. Plaza de la Libertad
 8. Plaza de la Unión
 9. Plaza de la Victoria
 10. Plaza de la Paz
 11. Plaza de la Esperanza
 12. Plaza de la Fe
 13. Plaza de la Caridad
 14. Plaza de la Misericordia
 15. Plaza de la Justicia
 16. Plaza de la Verdad
 17. Plaza de la Honestidad
 18. Plaza de la Pureza
 19. Plaza de la Castidad



**CRUISE SHIPS/CRUCEROS
SAMANA**
CARNIVALE
VICTORIA

**CRUISE SHIPS/CRUCEROS
SANTO DOMINGO**
HOLLAND
COLUMBIAN
MELITA
NORLON
SALAFORD
STELLA SOLANS
VEHUAU
VICTORIA
VIOLETTA
VIOLETTA

**AIRLINES/LINEAS AEREAS
LAS AMERICAS - SANTO DOMINGO**
AIR CANAL
ALCA
AMERICAN
AIR FLORIDA
DOMINICANA
IBERIA
EASTERN
VIASA

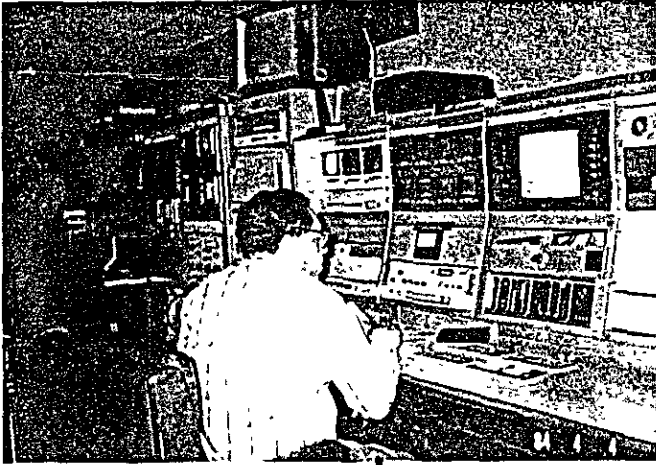


- HIGHLIGHTS/LUGARES DE INTERES
PUERTO PLATA**
1. Monumento al General La Peron
 2. Fortaleza y Museo de San Felipe
 3. Puerto Turístico
 4. Logia Restauración
 5. Núcleo Urbano
 6. Parque Central
 7. Iglesia de San Felipe
 8. Ayuntamiento Municipal
 9. Mercado
 10. Jardines El Músico de las Nubes
 11. Teleférico
 12. Hotel Camacol (1900-1950)
 13. Hotel Montemar (1910-1950)
 14. Pizzería Portolano (1950-1955)

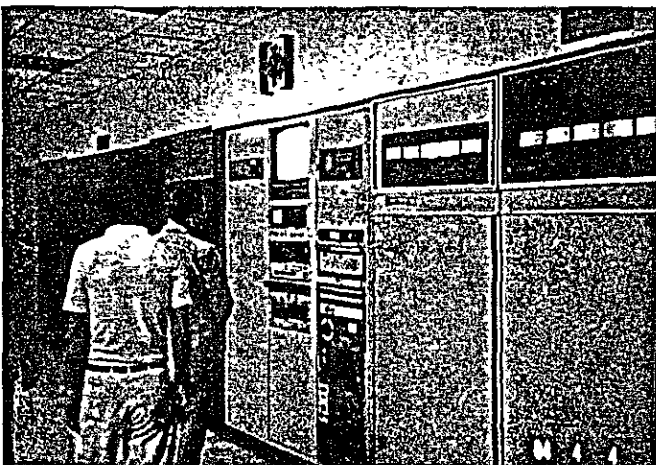
- SYMBOLS/SIMBOLOGIA**
- Highlight/lugares de interes
 - ⊙ National capital/capital nacional
 - ⊙ Provincial capital/capital provincial
 - Township/ibicari de municipio
 - Town/pueblo
 - Village/aldeia o paraje
 - National boundary/frontera nacional
 - Major highway/carretera principal
 - Secondary road/carretera secundaria
 - Distance in kilometers/distancia en kms
 - Provincial boundary/frontera provincial
 - ✈ International airport/aeropuerto internacional



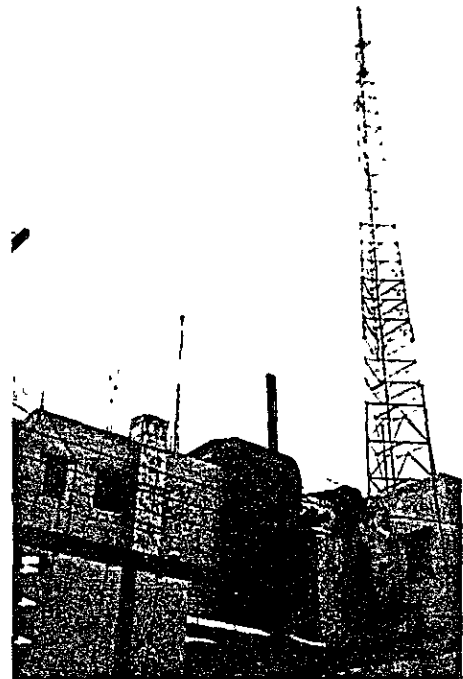
S/Wの協議



SANTO DOMINGO TV局主調整室



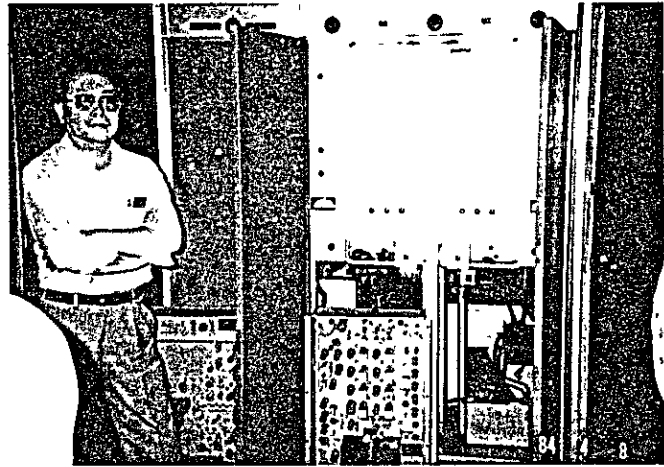
SANTO DOMINGO TV局送信設備



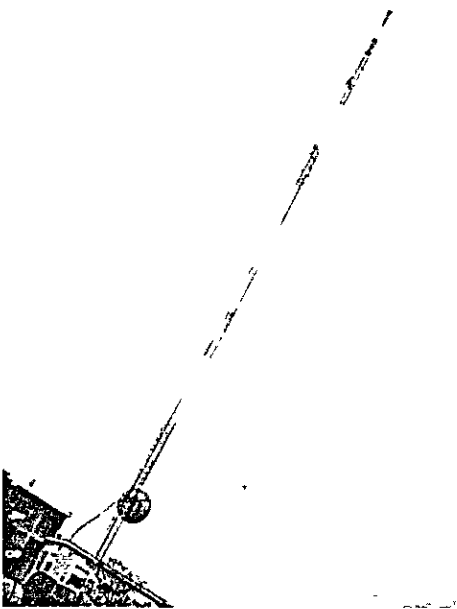
SANTO DOMINGO放送局
(RTVD)



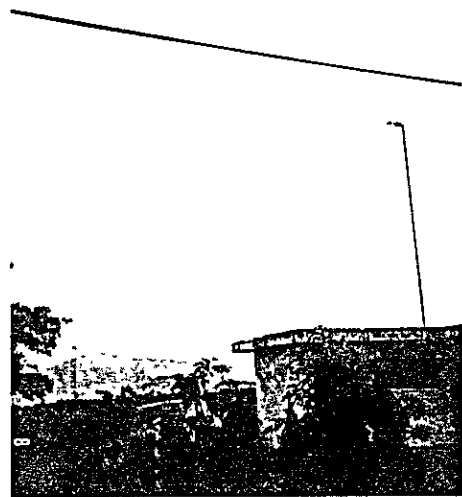
SANTO DOMINGO
ラジオ・スタジオ設備



LA ROMANA
TV 送信所設備



LA ROMANA TV 送信所



EL SEIBO ラジオ送信所

目 次

第一章 序 論	1
1-1 要 請 の 背 景	1
1-2 調 査 目 的	1
1-3 調 査 団 の 構 成	1
1-4 調 査 日 程	1
第二章 調査事項の概要	3
2-1 事前調査の概要	3
2-1-1 調 査 事 項	3
2-1-2 Scope of Work の協議及び合意事項	3
2-1-3 Scope of Work の協議における問題点	4
2-1-4 現地踏査及び収集資料	4
2-2 F/Sの範囲及び規模	4
2-2-1 教育ラジオ・テレビ放送ネットワークの設置	4
2-2-2 既設ラジオ・テレビ放送ネットワークの変更	5
第三章 調 査 結 果	6
3-1 ドミニカ共和国の放送事情	6
3-1-1 放送の監督官庁	6
3-1-2 放送の概要	6
3-1-3 RTVDの放送の現状	8
(1) RTVDの概要	8
(2) 送 信 設 備	8
(3) 演 奏 所 設 備	9
(4) 番 組 内 容	11
(5) RTVDの組織及び運営	13
3-2 ドミニカ共和国の通信事情	14
3-2-1 主官庁及び運営体	14
3-2-2 電気通信の現状	15
3-2-3 ルーラル電気通信網拡充計画	15
3-3 教育ラジオ・テレビ放送網拡充計画の概要	16
3-3-1 放送設備計画	16

(1) テレビ放送設備	16
(2) ラジオ放送設備	17
3-3-2 番組計画	17
3-3-3 要員計画	17
3-3-4 既設放送設備の関連整備拡充	17
3-3-5 その他	18
第四章 調査実施上の考察	19
4-1 方針	19
4-2 調査団の派遣	19
4-2-1 調査団の構成	19
4-2-2 調査期間	19
4-3 調査実施方法	19
4-3-1 放送網の規模等	19
4-3-2 チャンネルプラン	19
4-3-3 施設計画	19
4-3-4 番組計画	20
4-3-5 要員計画	20
4-3-6 財務経営計画	20
4-3-7 その他	20
4-4 調査実施上の問題点	20
付属資料	55
1. Termes of Reference	57
2. Scope of Work	60
3. Alcance de trabajo	69
4. Minutes of Discussions	78
5. Minuta de las discusiones	80
6 現地事情	82
7 収集資料リスト	84

第1章 序 論

1-1 要 請 の 背 景

ドミニカ共和国政府は、経済社会開発計画の最重点政策として、農業、医療、教育をかかっている。同政府は、教育分野においては教育の普及と、約30%とも言われる文盲率の低減をはかってきたが、ラジオ・テレビ放送を媒体とした視聴覚による教育が目的達成に最も有効に貢献できるものであると認識し、教育用ラジオ・テレビ放送網拡充計画を策定した。

同計画では、(1)ラジオ放送では、サントドミンゴ局他4局の新設、(2)テレビ放送では、アルトデラパンデラ局の新設によりドミニカ共和国全土をサービスする予定であるが、計画の技術的検討を行うため、わが国に対し技術協力を要請してきたものである。

1-2 調 査 の 目 的

本調査の目的はドミニカ共和国政府の要請に基づき、同国の教育ラジオ・テレビ放送網拡充計画についてフィージビリティ調査を実施するに先立ち、調査の範囲、時期、方法等調査の実施に必要な諸項目についてドミニカ共和国関係者と協議を行い、Scope of Work を決める事、並びに本格調査の実施に必要な資料及び情報の収集を行うことである。

1-3 調 査 団 の 構 成

団 長	塚 田 宏 (総 括)	郵政省電波監理局無線通信部陸上課 無線局検査官
団 員	小 島 世 臣 (放 送 網)	郵政省大臣官房国際協力課第2国際 協力係長
団 員	緒 方 惟 孝 (放 送 施 設)	日本放送協会熊本放送局技術部
団 員	宗 宏 一 郎 (業 務 調 整)	国際協力事業団社会開発協力部開発 調査第2課

1-4 調 査 日 程

No	月 / 日	
1	3 / 31 (土)	東京発
2	4 / 1 (日)	サントドミンゴ着
3	2 (月)	日本大使館及びJICA支部表敬及び打合せ、ドミニカ国営放送 (RTVD)総裁及び技術庁次官表敬、RTVD関係者と打合せ
4	3 (火)	RTVD関係者とS/Wの協議及びRTVDの現況調査
5	4 (水)	同 上

№	月 / 日	
6	4 / 5 (木)	R T V D関係者とS / Wの協議及びR T V Dの現況調査
7	6 (金)	S / W及びミニッツ署名
8	7 (土)	現地踏査 (サントドミンゴ市内の放送施設)
9	8 (日)	同 上 (ラ・ロマーナ及びエルセイボのラジオ局、テレビ局現況調査)
10	9 (月)	同 上 (サンチャゴ及びブエルトプラタのラジオ局、テレビ局現況調査)
11	10 (火)	同 上 (サデトドミンゴ市内の民放局現況調査)、大使館及びJICA支部と打合せ
12	11 (水)	サントドミンゴ発
13	12 (木)	(ニューヨーク)
14	13 (金)	東京着

第2章 調査事項の概要

2-1 事前調査の概要

2-1-1 調査事項

ドミニカ共和国ラジオ・テレビ放送網拡充計画の本格調査の実施に先立ち、ドミニカ政府関係機関との間で、要請の背景及びT/Rの聴取、本格調査の範囲及び規模を示すS/Wの協議と合意を行うとともに、計画対象地域の現地踏査及び資料収集を行った。

2-1-2 Scope of Work の協議及び合意事項

大統領府技術庁及びドミニカラジオ・テレビ局(RTVD)代表者との会議において、予め作成したS/W草案について協議を行い、ドミニカ政府の負うべき義務の一部を訂正した上で合意に達した。合意事項の概要は次のとおりである。

(1) 調査の概要

- 1) 調査の範囲は、全国土を対象とした教育ラジオ・テレビネットワークの設置及び関連する既設設備の見直しである。
- 2) 調査は、ドミニカ共和国におけるフィールド調査と日本での整理分析により次の事項について最適プランを作成する。

- ① 基本的経営
- ② 番組製作
- ③ チャンネルプランニング
- ④ 施設計画
- ⑤ 置局計画
- ⑥ 建設計画
- ⑦ 要員計画
- ⑧ 初期投資額、管理運営費の見積り
- ⑨ 管理及び運営のための勧告
- ⑩ 実施スケジュール

評価は次のとおり行う。

- ① 財務分析
- ② 経済分析

3) 調査スケジュール

ファイナルレポートの提出が昭和60年3月となるよう、F/S調査、報告書説明等の時期を設定した。F/Sの開始予定は昭和59年8月とする

4) レポートは次の種類を提出する。

- ① フィールド調査開始時の報告書(インセプションレポート)

- ② フィールド調査終了時の報告書（プログレスレポート）
- ③ 中間報告書（インタビューレポート）
- ④ ドラフトファイナル報告書
- ⑤ ファイナル報告書

5) 我が国及びドミニカ共和国の双方が負うべき義務

内容は一般的なフォーマットに従ったもので、我が国の義務は、自らの経費による調査団の派遣、カウンターパートに対する技術研修であり、ドミニカ共和国の負うべき義務は、持込む調査用資機材に対する免税、調査団員に対する所得税の免除、調査に必要な地域等への立入りに対するアレンジ、フィールド調査に必要な輸送に対するアレンジ、調査に関する資料、データ等の提供及び日本への送付の便宜、調査団員の免責特権等である。また、RTVDに対してはカウンターパート、機材収容室の提供、資格証明書又は身分証明書等の便宜供与を求めた。

2-1-3 S/W協議における問題点

- (1) 相手国へのS/Wの事前送付は必要である。現地での調査期間が短いので、予め相手国側の検討期間を設定することが円滑な協議の前提になる。
- (2) 英語で草案を用意したが、ドミニカ共和国の国語である西語を要求されたことから、英西の両方にわたった。一義的には相手国国語で草案を準備すべきであろう。
- (3) 各種報告書についても英設により作成することで合意したが、報告書を理解し、活用しななければならないドミニカ側技術者等の英語力は低く、報告書の有効は利用と技術移転を円滑にするためには西語による作成が必要である。
- (4) ドミニカ共和国側の負うべき義務について、一般のフォーマットに従って各事項を列挙したが、その内の2点について意見が出された。その1は、restricted area への立入りについては軍関係もあり許可するとの明記は困難である。その2は、データ等の日本への持出しは強制的と解せられる。これらについては、前者は調整に、後者は送付の便宜等に表現を一部変更して合意に至った。この変更によるF/Sへの障害はない。

2-1-4 現地踏査及び資料収集

計画対象地域の放送設備の現状、道路・交通、地理、気象、労働条件等について現地踏査及び収集資料により概要を把握した。

その他各種統計資料についても収集を行った。収集資料等は付属資料7のとおり。

2-2 F/Sの範囲及び規模

2-2-1 教育ラジオ・テレビ放送ネットワークの設置

(1) 教育ラジオ

全国土のカバレッジを目標としたラジオネットワークの新設で、演奏所、送信所及び番

組中継回線設備により構成する。

(2) 教育テレビ

全国土のカバレッジを目標としたテレビネットワークの新設で、演奏所、送信所及び番組中継回線設備により構成する。

2-2-2 既設ラジオ・テレビネットワークの変更

教育ネットワークの新設による既設備のモディファイで、局舎、電源、アンテナ及び番組制作設備等に対する教育ネットワークとの部分的共用による変更が主たる対象である。

第3章 調査結果

3-1 ドミニカ共和国の放送事情

3-1-1 放送の監督官庁

放送に関する主管官は、公共事業通信省 (Secretoria de Estado Obras Publicas y Comunicaciones) で、国営放送 (Radio Television Dominicana : RTVD) のプログラムの審査承認や電波の周波数の割当、放送局の許可ならびに電気通信事業に対する営業権の認可等も行っている。

3-1-2 放送の概要

(1) ラジオ放送

ドミニカ共和国の放送局の運営形態は、国営放送 (RTVD) と民間放送とからなっている。国営放送については次節で述べるのでここでは省略する。民放のラジオは、首都サントドミンゴに31局、第2の都市サンチャゴに17局、その他地方に64局が免許されている。これ等のチャンネルセパレーションは10 KHz で、同一地域では30 KHz セパレーションで免許されている。現在、89波で121局を免許している。しかもその1/4が首都サントドミンゴに集中しており、都市の大きさに比べその数が多すぎるという印象である。又、空中線電力も50KWから5Wとバラエティに富んでおり、実際に指定されている電力と送信機の電力が相違しているのもあり、その実情に把握するのは困難である。

(2) FM放送

FM放送には国営放送局はなく全局が民間放送で、その使用周波数帯は88 MHz から108 MHz までで、チャンネルセパレーションは100 KHz である。

免許状況は、全国で74波82局が免許されており、この内、サントドミンゴには37波37局、サンチャゴに17波17局、それ以外の地域に20波28局がそれぞれ免許されている。これらの放送局には、空中線の指向性や実効副射電力等の定めはなく、空中線電力で指定されているだけであり、その電力も10KWから5Wまでとさまざまである。放送番組についてはほとんどが音楽である。

なお、同一地域のチャンネルセパレーションは400 KHz で割当てている。

(3) TV放送

ドミニカ共和国のTV放送の歴史は古く、日本のNHKがTV放送を開始した年より2年前に放送を開始している。同国のTV放送の使用周波数帯はアメリカチャンネルで55 MHz から88 MHz まで5チャンネルと175 MHz から216 MHz まで7チャンネルの合計12チャンネルを使用している。UHFによる放送はまだ行われていない。カラー方式は日本と同じNTSC方式を採用している。

TV放送は、国営の外に5社の民放がサービスを行っている。しかし、それらの民放は、

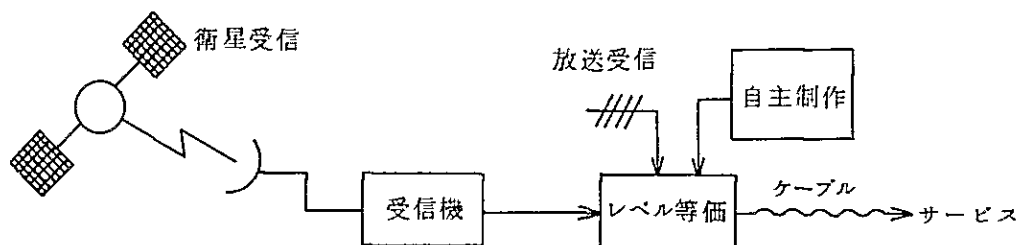
首都サントドミンゴに集中し、他の都市ではサンチャゴ、プエルトプラタ、ラ・ロマナの3都市に限定されているのが現状である。(図1参照)

サントドミンゴの使用チャンネルは2、④、7、9、11、13(○印はRTVD使用)である。各TV局の送信空中線は日本の場合と異なり、一定地域に建設しているわけではなくバラバラである。このため良好な受信を好む受信者は、特定局の方に受信空中線向けなければならない。各局を良好な状態で受信しようと空中線を回転する装置を付けている家も見受けられた。

受信機の普及台数は、公式には3年前に54万台(税関上の数字)と公表されているが、現在は70万台に達している(地元メーカーの話)との事である。又、受信機の価格は、普及サイズ(15インチ、カラー)で700~800ペソ(6万円~68万円)、19インチ、カラーで約1,300ペソ(11万円)であり、サラリーマンの平均月給の2~3倍位である。

(4) CATV

現在サントドミンゴ市内にケーブルTVドミニカナとテレカブレナショナルの2社のCATV会社がある。これら2社は、米国の衛星の電波を受けて、その番組をケーブルで各家庭にサービスをしている。その構成を図に示す。



図からもわかるように、衛星の電波を受信し、地元の放送とをミックス、レベル等価をしてケーブルにより配分してサービスをするものである。ch容量は地元の放送が6チャンネルと衛星受信6chである。ケーブルTVドミニカナ社はUHFチャンネルでもサービスをしている。又同社ではサンチャゴでもサービスをしている。

二社のサービスエリアはサントドミンゴ市内を分割し、加入契約者数はテレカブレナショナル社が8,000、ケーブルTVドミニカナが2,000で、契約料金は前者が21ペソ、後者が31ペソである。料金の違いはUHFチャンネルでもサービスしているかどうかであり娯楽性の高いのもUHFチャンネルの方である。

現在の加入者層は上流社会に限定されていて、その利用方法は英語を学ぶ為に加入している家庭が多いという。

なお、放送番組は衛星の番組と自社制作のコマーシャル及び自主番組とからなり、これら番組も公共事業通信省によりチェックされ、番組内容も社会奉仕、教育に関するものが10%以上と枠をはめられている。

3-1-3 RTVDの放送の現状

(1) RTVDの概要

RTVD (Radio Television Dominicana) は、国营放送局としてラジオ放送とTV放送とを全国ネットでサービスを行っている。TV放送にしてもその歴史は古く、日本のNHKの放送より2年早くサービスインしている。しかし、現在は財政的な理由から、機器の更新に手が廻らず、30年前の送信機すら現用機として使用している状況下にある。その為、一部では、2年間も機器故障のまま放置され、放送が中断されたままになっている局すらある状態である。

RTVDは、国营放送ではあるが、その運営は広告の収入により、全体の3/5を得て、残りの2/5を国からの補助で賄われている。

(2) 送信所設備

1) ラジオ放送

RTVDの送信所は次に示す通りである。

局 所	周 波 数	空中線電力(現/予)	送信機製造年
サントドミンゴ	620KHz	15KW/10KW	1977/1980
ラ・ベガ	1360KHz	250W	1958
サンチャゴ	1270KHz	10KW/1KW	1980/1952
プエルトプラタ	1500KHz	1KW	1967
モンテクリスティ	1360KHz	1KW	1956
エル・セイボ	1310KHz	1KW	1957
サンファンデラマグアナ	1390KHz	1KW	1957
バラオーナ	1370KHz	500W	
ベデルナレス	1400KHz	250W	1954

図2に示すように、番組中継は、サントドミンゴのスタジオからSTLでアルトデラパンデラ(2600m)に、ここより96.1MHzのFM波で全国に中継している。地方局はこのFM波を受信して、これを送信機入力として中波放送を行っている。

ラジオサービスの概要は表1、設備の概要を表5に示す。

2) T V 放 送

R T V D の送信所は次のとおりである。

局 所	使用チャンネル	空 中 線 電 力
アルトデラバンデラ	5 CH	6 KW
サントドミンゴ	4 CH	16 KW
ラ・ロマナ	12 CH	5 KW
サンチャゴ	4 CH	1 KW
プエルトプラタ	12 CH	100 W
ダハポーン	12 CH	0.25 W
テイスクウビエルト	12 CH	0.25 W
パラホーナ	12 CH	100 W
カボローホ	12 CH	100 W
エンリイキージョ	12 CH	0.25 W

以上10局で全国ネットを構成している。これを図3に示す。番組中継はサントドミンゴのスタジオからS T Lでアルトデラバンデラへ行い、アルトデラバンデラから5チャンネルに変換して全方向にサービスしている。地方局では、この5チャンネルを受信してチャンネル変換してT V放送を行っている。この放送波中継方式は、中継するだけでなく周辺にもサービスを行えるというメリットはあるが、地方局によっては長距離中継(ラ・ロマナは約180KW位)となり画質は悪くなっている。

テレビジョンサービスの概要は表2、設備の概要を表6に示す。

(3) 演奏所設備(表7参照)

R T V D局はサント・ドミンゴ市のほぼ中心部にあり、1950年代初期に建てられた4階建の建物である。

各階の平面図は図4～図6のとおりであるが、部屋の改造や配置が後の図面の訂正が行われていないため、今回、概略を調査したスタジオ等の部分を除いては、全く不正確である。

1) テレ ビ 設 備

a) スタジオT V - A (仮称：以下同じ)

(ア) 広さ 約400 m² (内容席部約130 m²)

(イ) 副調室；広さ 約24 m²

(ウ) スタジオ設備(カラー)

○カメラ 2(RCA、JVC)

○照明の調光卓・ディマー(BERKEY)

○映・スイッチャー (AMERICAN DATA)

○音・MIXER (TAPCO)

○VTR (SONY)

○MONITOR (RCA、SONY)

等の機器でアッセンブリーされており、ニュース・スタジオ用と兼ねている。機器類は、比較的新しく、使用歴は2～5年である。

副調室は、TV主調室とガラス越しに隣接している。

b) スタジオTV-B

(ア) 広さ 約350 m^2

(イ) 副調室；広さ 約40 m^2

(ウ) スタジオ設備

固定パトロンに、古いライトが10数個吊り下っているのみで、スタジオ設備は零である。空調ダクトはあるが空調機は壊われたままである。

c) スタジオTV-C

(ア) 広さ 約35 m^2

(イ) スタジオ設備

TV-Cはニュース・スタジオで、設備は全て、TV-Aの設備を供用している。

d) 主調室

(ア) 広さ 約12 m^2

(イ) 主調設備 (カラー)

RCA、SONY、TEKTRONIX、3M等の機器でアッセンブリーされており、使用歴は2～5年である。

e) OBVAN (カラー)

1983年にカメラ (JVCのKY-310) 3台を購入し、アッセンブリーしたもので、カメラ以外の機器は、使用歴5年以上のものが多い。

2) ラジオ設備

a) スタジオR1 (仮称：以下同じ)

(ア) 広さ 約240 m^2 (内容席部約150 m^2 位)

(イ) 副調室；広さ 約6 m^2

スタジオR3 (後述) とドア1枚でつづいている。

(ウ) スタジオ設備

何もなく、まれに使用する時は、機器は、主調設備へ直結される。

b) スタジオR2

(ア) 広さ 約100 m^2

(イ) 副調室・機器室 広さ合わせて20㎡位

(ロ) スタジオ設備

MIXER、カセット・テープ・レコーダー以外の設備は非常に古い。

c) スタジオR3

(ア) 広さ 約12㎡

(イ) 主調室用スタジオで、放送開始から終了まで、常時使用されている。

(ロ) マイク3本(SHUREのSM-58、1980年購入)が常設されている。

d) 主 調 室

(ア) 広さ 約12㎡

(イ) 主調設備

コンソールはMARTIN製で、その他、AMDEX、SINTRONIC、SPOT・MASTER等の機器で、アッセンブリーされている。機器は、使用歴2～5年で比較的新しい。

(ロ) 主調室の一角に、STL送信機(Alto Bandera 及び Villa Mella 向け、945MRz、6W)2台(現用・予備)が、設置されている。

e) その他(R4、R5)

現在、資料室に使われている旧スタジオが、2つ(R4、R5)ある。

広さは、いずれも35㎡位。

(4) 番組内容

RTVDの番組編成上極めて特徴的なことは、国営局でありながら、しかも、他にも5局の商業放送局がありながら、広告放送を行っていることである。

その広告料収入に財源を依存し、政府の交付金も少ないため、スポンサーのつかないすなわち収入につながらない教育番組は、どうしても敬遠されるということである。

そして、これも又、財源上やむをえぬことではあるが、番組の再放送、再々放送は極めて多いものと思われる。

a) テレ ビ

(ア) 放送時間

月～金 AM11:30～PM11:00

土・日 AM 9:00～AM12:30

※終了時間は映画の長さによって若干前後する。

(イ) 内 容

1984年1月のある1週間の番組表は次のとおりである。

これによると、月曜から金曜までは、1日3回計1時間半のニュースと国や赤十字等の公共機関の制作又は提供の番組が約40%あり、残りは、購入したり各国大

	月 ~ 金	土	日
9		子供番組 (外国)	LA SANTA MVSA (生中継)
10		教育番組 (外国)	外国番組 フリー編成
11		子供番組 (外国)	外国番組
12	DOCUMENTOS (外国大使館提供)	CLUB 700	外国番組
1	RTVD INFORMA	土曜特集 ドミニカ音楽 (国のプロダクション)	芸術番組 (国のプロダクション)
2	CLUB700 (外国、宗教的)	国のプロダクション	映画等 (外国)
3	公共機関の情報番組	国のプロダクション	映画等 (外国)
4	国のプロダクションや外国大使館提供 子供番組 (外国)	外国映画等	スポーツ等 (生中継もあり)
5	教育番組 (外国)	外国番組	スポーツ・ドキュメント (外国)
6	Buenas tardes a la orden (女性向 国のプロダクション)	外国映画	映画等 (外国)
7	Mujer 2000 (女性向 国のプロダクション)	芸術番組 (国のプロダクション)	DOCUMENTO (外国)
8	DOCUMENTO (外国)	国のプロダクション	音楽 (外国)
9	公共機関の情報番組	映画や音楽 (外国)	映画 (外国)
10	国や公共機関の番組	映画や音楽 (外国)	文化番組 (外国)
11	RTVD INFORMA	映画 (があつたりなかつたり) (外国)	Cine en Domingo (外国)
12			
1			

使館提供の外国の映画やテレビ番組のスペイン語吹替版である。

土・日は、80%以上が外国の映画やテレビ番組である。

外国製の子供番組及び教育番組が、月～土まで毎日各1本放送されている。RT

V D制作の局外生中継番組も毎週日曜日のミサを始め、スポーツ等比較的良く放送されている。

※大統領の重要演説等は、大統領府の命令で生中継をやっている。

b) ラ ジ オ

(ア) 放送時間 AM 5 : 3 0 ~ AM 1 : 0 0

(イ) 内 容

1日4回計3時間のニュースと国や赤十字等の公共機関の制作又は提供の番組が約40~50%で、残りはレコード中心の音楽番組と思われる。

(5) R T V Dの組織及び運営

R T V Dは、大統領府総務秘書室 (S E C R E T A R I A D O A D M I N I S T R A T I V O D E P R E S I O E N C I A) の情報・新聞局に属し、 J U N T A C O O R D I N A D O R A A D M I N I S T R A T I V A と呼ばれる、大統領府直轄の5人の運営委員会 (R T V D 局長を含む) のメンバーの下に管轄されている。

R T V D の組織は、図7のようになっているが、昨年11月、新局長が任命されて以来、組織改正が進行中とのことであり、又、その上、目標とする組織の形体が明確にされていないため、現時点における参考資料でしかないと思われる。

現在、現業部門は、形の上では T V 副局長 (T V 技術部長兼務) ・ R 副局長 (R 技術部長兼務) と呼ばれる副局長格の総括者がいて、その下に夫々の放送部・技術部があるという、組織形態になっているが、実行上は両副局長は肩書のみで、 T V 技術部長・ T V 放送部長、 R 技術部長、 R 放送部長が夫々の部門を統括している。

R 部門と T V 部門は、仕事の上でも明確に分かれており、技術の場合も番組中継はもとより放送所の保守まで夫々の部門の技術員が行っている。

局員総数は政府の公式資料 (1 9 8 2 年) によれば、 1 5 0 名となっているが調べたところでは、少なくとも 3 0 0 名以上は、何らかの形で働いているものと思われる。なお、上記の数値には、各放送所及び中継放送所に常駐している O P E R A D O R (局舎の管理及び放送機の O N ・ O F F) 、 と呼ばれる人達 1 5 名 (実際には 3 5 名前後) が含まれている。

「 R T V D 要員構成の中で、特に目立つことは、番組制作者の P D が T V 部門では 2 名、 R 部門では 3 名と非常に少ないことである。その結果として、 R T V D 独自制作の番組は、ニュース以外は非常に少なく、その一方で、国のプロダクション (P D 6 名) が制作する多くの番組に、技術部門が携わっているとのことである。」

因に、民間の独立した P D は、現在、 1 0 名とのことである。

「 R T V D は、既に述べたとおり、組織は政府の管轄下でありながら、その財政基盤は広告料収入に依存している。

1983年度のRTVDの会計報告を見ると、概略、以下のようになっている。

	ラジオ	テレビ	その他	政府補助	計
収入	239	1,867	221	1,096	3,423
支出	471	1,649	822		2,942
収支	-232	218	-601	1,096	481

(単位 千ペソ)

RTVDの話では、政府補助金は非常に少ないとのことであったが、この報告によれば、1983年度は全収入の約1/5である。

一方、支出はそのほとんどが人件費に食われて、設備維持費や番組制作費は、非常に少ないとのことである。」

3-2 ドミニカ共和国の電気通信事情

3-2-1 主管庁及び運営体

主管庁は公共事業通信省であり、この内局である電気通信総局(Dirección General de Telecomunicaciones: DGT)が通信関係の主管局となっている。また、管理的な業務としては国営のTV、ラジオのプログラムの審査承認や電波の周波数の割当、放送局の認可ならびに電気通信事業に対する営業権の認可等も公共事業通信省が行っている。

運営体は、DGTが国内電報を一元的に取り扱っており、僅少ではあるが国内電話も取り扱っている。この外に電話は民間会社であるドミニカ電話会社(Compañía Dominicana de Telefonos, C. por A.: CODETEL)が国内の大部分を、又、国際電話を独占的に運営している。なお、CODETELは2010年までの営業権を政府から得ている。その他、国内電話部門に限り、独立系電話会社7社により限定された地域で小規模にサービスの提供を行っている。

テレックスは国内、国際両部をオールアメリカ有線無線会社(All America Cables and Radio Inc.: AACR)が提供し、国際部門のみにRCA(RCA Global Comunicacions, Inc.)もサービスを行っている。

電報のサービスは、国内はDGTが一元的に運営しており、国際部門はAACRとRCAがそれぞれ行っている。これ等を一表に示すと次の様になる。

運 営 体	国 際	国 内
電 話	CODETEL	DGT 独立系電話会社7社 CODETEL
テ レ ク ス	AACR RCA	AACR
電 報	AACR RCA	DGT

3-2-2 電気通信の現状

国内の電話サービスは、首都サントドミンゴとサンチャゴなどの大都市を中心とした人口10万人以上の16都市をCODETELがサービスを行い、さらに人口5万人以上の29の中都市を独立系7社でサービスを行っている。したがって、電話のサービスは都市集中型といっても過言ではない状況にある。このため、同国の約1100市町村の内電話サービスを受けている都市は45都市に限られる。電話普及率は全国平均で28台/100人であるがサントドミンゴ、サンチャゴの2大都市を除くと僅かに0.6台/100人となってしまうのが実情である。この背景には、電話サービス開始時の1930年に電話（国内、国際）事業の全てをCODETELに委託した事に始まり、CODETELは利益重点に年々独占的性格を強め、そのサービスも都市集中型となり、公共福祉増進という観点から大きく遊離したものとなってしまう、今日では政府もその取扱に苦慮する会社になっている。

一方、電報サービスは、DGTが一元的に行っているが、約1100の市町村の内電報業務を取扱う郵便・電報局は111局（111市町村）であり、この内35局はCODETELからの借用回線でサービスを提供している。残りの76局はDGTの無線回線を用いて電報サービスを実施しており、同時にその回線を利用し市外公衆電話サービスも行っている。しかし、90%の市町村には電報・電話のサービスを受ける手段がなく、陸の孤島にされたまま今日に至っている。

現在、DGTの電報取扱量は、10.5万通/月であり、年間約130万通に達しているが、ここ数年飽和の傾向にある。この理由は需要が減ったのではなく、DGTの通信設備の老朽化に伴う電報処理能力の低下が年々著しく、需要があるにもかかわらず設備面での対策遅れによるものである。

3-2-3 ルーラル電気通信網拡充計画

ドミニカ政府は、前記電気通信の現状に示す現状改善のため、DGTが中心となって、ル

ーラルの電気通信網拡充計画に着手し、1979年に日本のコンサルタントに同計画のフィジビリティスタディを依頼した。これと並行して、ドミニカ政府から日本政府に対して、約30億円の円借要請が出され、1980年に円借のL/Aが調印された。これにより工事が進行し、現在全工程の約20%が完了している。

この計画は先にも記した通り、現在のサービスは全国1,100の市町村の内電話サービスを受けているのは45市に限れ、全人口の40%であり、60%の人は無電話地域に住んでいることになる。これを650市町村にサービスを拡大し、国民の80%が電報・電話サービスを受けられるようにするものである。

しかし、最大の問題はこの回線と既設のCDETELの回線とが接続出来ないでいることである。その理由は料金配分の話し合いが難行している為で、現在、その解決の見通しに向けて努力がなされている。

3-3 教育ラジオ・テレビ放送網拡充計画

ドミニカ共和国における経済・社会開発計画の最重点政策である教育の普及及び文盲率の低下に教育放送の実施が最も有効であるとの認識から、全土をサービスエリアとする教育用ラジオ局及びテレビ局を開設するラジオ・テレビ放送網拡充計画が策定された。

教育ラジオ放送は、全国土の約80%をカバーする中波放送で、ネットワークの規模は、送信所5カ所、演奏所1カ所及びUHF回線による番組中継設備により構成される。

教育テレビ放送は、全国土の約70%をカバーするVHF放送(カラー化)で、ネットワークの規模は、マウンテントップの送信所1カ所、演奏所1カ所及び7.5GHz帯の番組中継設備により構成される。

教育ラジオ・テレビ放送網の計画の実施に当たっては既設のラジオ・テレビ放送施設をできる限り活用することが有効で、このため民舎、電源、アンテナ及び放送設備の一部を共用する。また、送信規模の等化、保守運用の効率化を図ることから、既設設備の一部について更改を併せて計画している。

3-3-1 放送備の計画

(1) テレビ放送設備

1) 演奏所 (図8、図9参照)

a) スタジオTV-Bの整備

3 Color Camera 方式

b) 主調室・VTR室の新設

c) 取材用ENGの新設

d) Color OBVANの新設

3 Color Camera 方式

2) 送信所 (表3、図14参照)

Alto Bandera に、出力20KWの送信所を新設する。「チャンネルは現在、総合テレビが、Alto Bondera で使用している5chを使用する」

3) 中継回線 (図10-1、図10-2、図13参照)

演奏所—Alto Bandera 間に、STL回線の新設。

(2) ラジオ放送設備

1) 演奏所 (図11参照)

- a) 録音スタジオ(R2)の整備
- b) 主調室の新設
- c) アナ・ブースの新設

2) 送信所 (表4参照)

次の5地区に送信所を新設する。

Villa Mella^{**} 20KW、Santiago^{**} 20KW、El Seibo^{**} 10KW、
Las Matas 10KW、Oviedo 5KW。

(※ 現在、総合ラジオのある地区)

3) 中継回線 (図12-1、図12-2、図13参照)

演奏所—各放送所間にSTL回線を新設する。

3-3-2 番組計画

文化教育省では、これまで同省が中心となって、国立サント・ドミンゴ大学やカトリック系大学との間に、放送による教育について種々の議論を行ってきたはいるが、具体的な計画案の作成までには至っていない。

RTVD独自制作としては、まず、第1段階として、

- ア. テレビは1日1時間
- イ. ラジオは1日5時間

の教育番組を放送したいとしている。

3-3-3 要員計画

教育放送を実施するのに必要な要員数や組織の再編成等については、まだ、具体的な計画はない。

要員の訓練については、各分野のスタッフの日本における、On the job training と group training 及び日本人専門家のRTVDへの派遣を要望している。

3-3-4 既設放送設備の関連整備拡充

(1) 総合テレビ関連 (図15-1、図15-2、図17～図19、表8参照)

教育テレビに5chを使用するため、次の設備の関連整備を行う。

- 1) 現在の総合テレビのサービスエリアを確保するため、送信所の新設を含む整備・拡充

を行う。

(2) 総合ラジオ関連（図16、図20参照）

教育ラジオを併設する総合ラジオ送信所の整備を行う。

(3) 演奏所設備関連

教育ラジオ・テレビ放送と一部共用をはかるための整備、拡弁を行う。

3-3-5 その他

テレビ・ラジオ放送設備の保全に必要な測定器類の整備を行う。

第4章 F/S 実施上の考察

4-1 方針

本件フィージビリティ調査の実施形態は、一部直営とコンサルタントとの業務実施契約による官民混成方式によることが適当である。

教育ラジオ・テレビ及び既設ラジオ・テレビ事業に対する経営計画、近隣諸国及び国内における周波数利用の実状を踏まえた使用周波数計画（チャンネルプラン）等については、官ベース委嘱による調査及びとりまとめを行うものである。

4-2 調査団の派遣

4-2-1 調査団の構成

団 長（総 括）	官ベース
団 員（周波数計画）	”
”（放送システム）	コンサルタント
”（施設計画）	”
放送設備、番組制作設備、建築設備	
”（番組・要員計画）	コンサルタント
”（財務経済分析）	”
”（経営運用計画）	官ベース
”（業務調整）	

4-2-2 調査期間

番組・要員計画、財務経営分析及び経営運用計画担当の団員は30日間、その他の分担の団員は45日間の適当である。

4-3 調査実施方法

4-3-1 放送網の規模等

全国土をサービスエリアとするラジオ・テレビ放送網を確立するための送信所サイトの選定及び送信の規模、番組中継局の設置について電波伝搬試験を実施のうえ計画する。

4-3-2 チャンネルプラン

ドミニカ共和国及び近隣カリブ海諸国の周波数利用状況、周波数の有効利用、視聴者の利便及び電波伝搬特性を考慮し、ラジオ放送及びテレビ放送のチャンネルプランを作成する。

4-3-3 施設計画

(1) 放送機器

番組送出規模、将来の拡張及び既設備とのインターフェースを考慮した演奏所設備と効

率的に広い放送区域をカバーし、既設備とインターフェースした送信所設備及びマイクロ波帯もしくはUHF帯を使用する番組中継設備を計画する。

(2) 局舎及びアンテナ

既設設備との共用を基調としたデザイン、構造設計、建築設備を計画し、併せて将来増設にも配慮を行う。

(3) 建設工程

放送設備の製作、建築物の建造及び附帯工事、機器の据付・調整等の建設工程を作成する。

(4) 建設費

機器設備費、据付工事費、局舎及び鉄塔建設費、コンサルタント料等を計上する。

4-3-4 番組計画

教育番組の編成は放送効果、放送時間、放送施設及び要員との関連において、番組種類、再生方法も含めて計画する。

4-3-5 要員計画

放送技術、番組制作及び経営管理等の各分野にわたっての要員計画を作成する。併せて要員訓練の実施についても計画する。

4-3-6 財務経済分析及び経営計画

組織的、かつ、効率的に事業を運営して行くための経営形態の分析、財務計画の作成及び本プロジェクトを導入することについての経済評価を行う。

4-3-7 その他

既設設備については、教育ラジオ・テレビ放送網と可能な限りの共通使用をはかることから、その際の設備の改善、増強等はインターフェースを十分考慮のうえ計画する。

4-4 実施上の問題点、提言

- (1) ドミニカ共和国の経営発展、社会開発、国家財政の推移、放送技術及び番組制作能力の将来性等の分析にもとづき、技術的、経済的に実現可能なラジオ・テレビ放送網計画をまとめる必要がある。
- (2) ドミニカ側で作成したラジオ・テレビ放送網計画が基本となるが、これについては、実施機関であるRTVD内部でのコンセンサスが欠けている部分があるので、インセプションレポートの提出に当たっては、事前に計画内容についての再確認が必要である。
- (3) 放送技術、番組制作技術についての実務知識の不足、運用についての経験不足が見られるので、カウンターパートには調査期間中にオン・ザ・ジョブ・トレーニングとして実践的な指導をして行くことが望まれる。
- (4) 計画対象地域には軍用地があり、そこへの立入り許可には相当の日数（1週間程度）を

必要とするので、事前に R T V D からドミニカ共和国陸軍に対して手続きを行うことを依頼すること。

- (5) 調査用資機材は、ドミニカ共和国で調達することは殆んど不可能であることに留意して、準備すること。
- (6) ドミニカ側に提出する各種レポートについては、S / W にて英文によることを合意したが、R T V D スタッフの殆んどが英語を理解しないこと及び技術移転を円滑に行い、プロジェクトの早期実施をはかる観点から西文によるレポートが望ましく、これについての F / S 調査団の対応を定めておくことが必要である。

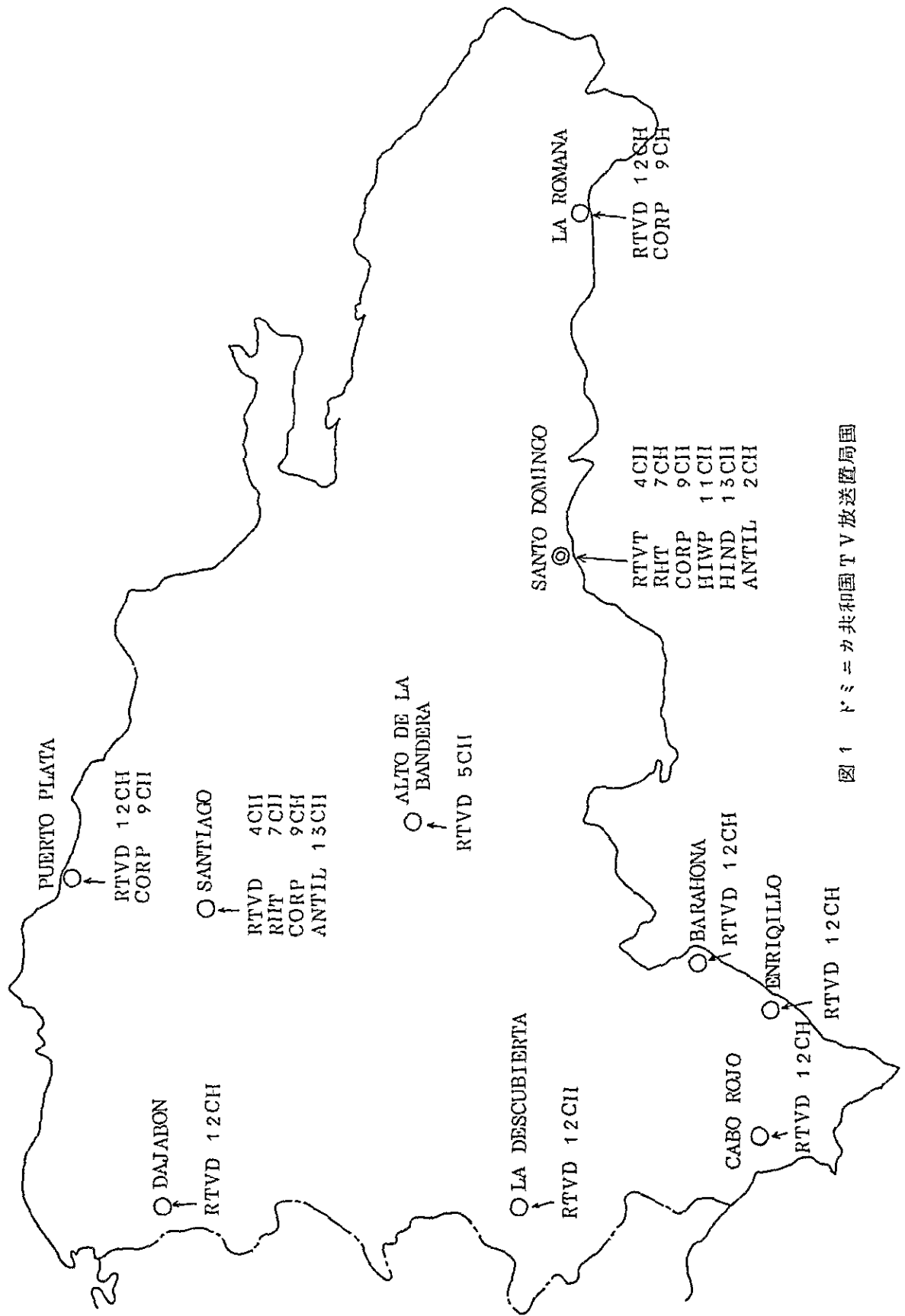


图 1 ドミニカ共和国 TV 放送置局图

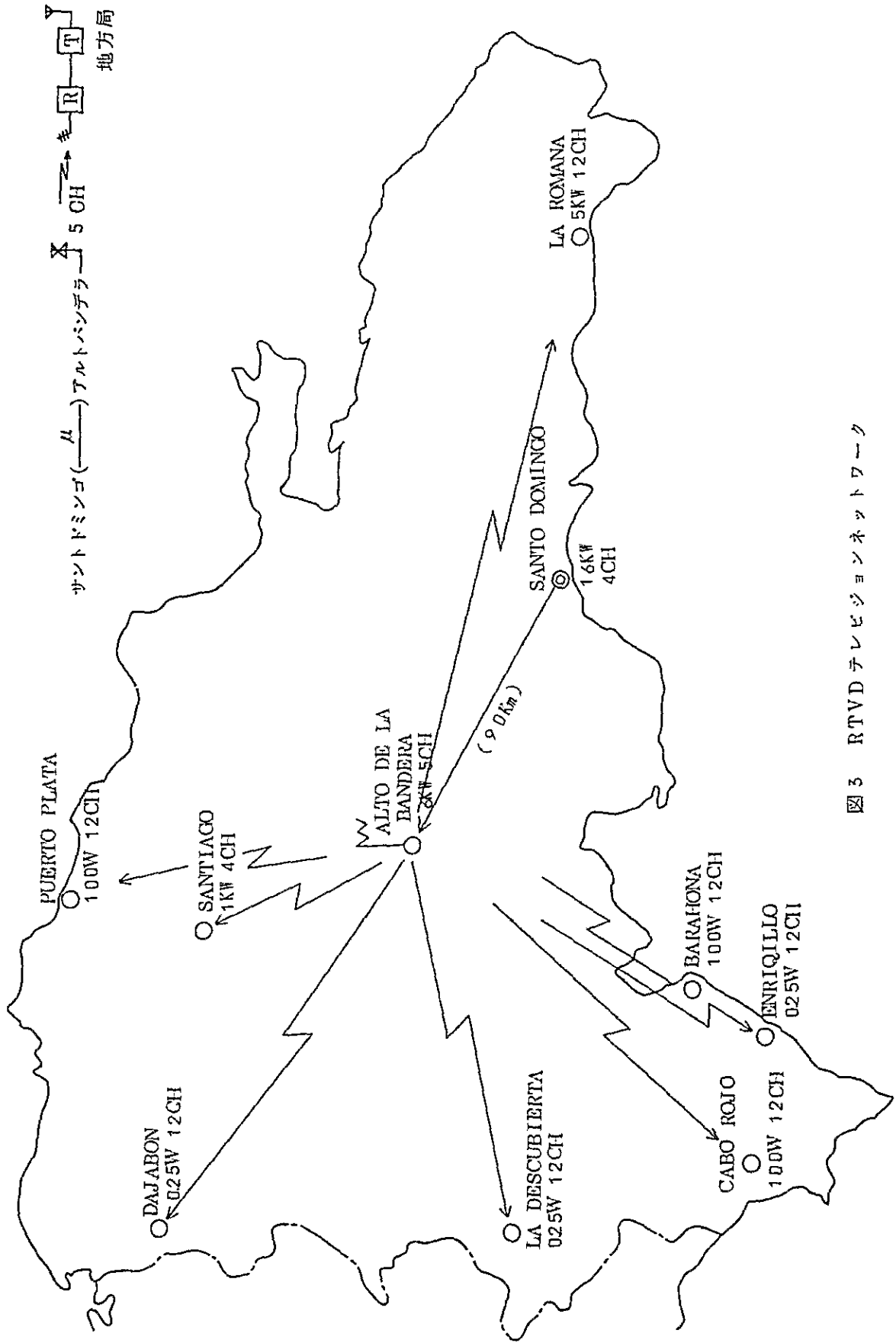


図3 RTVDテレビジョンネットワーク

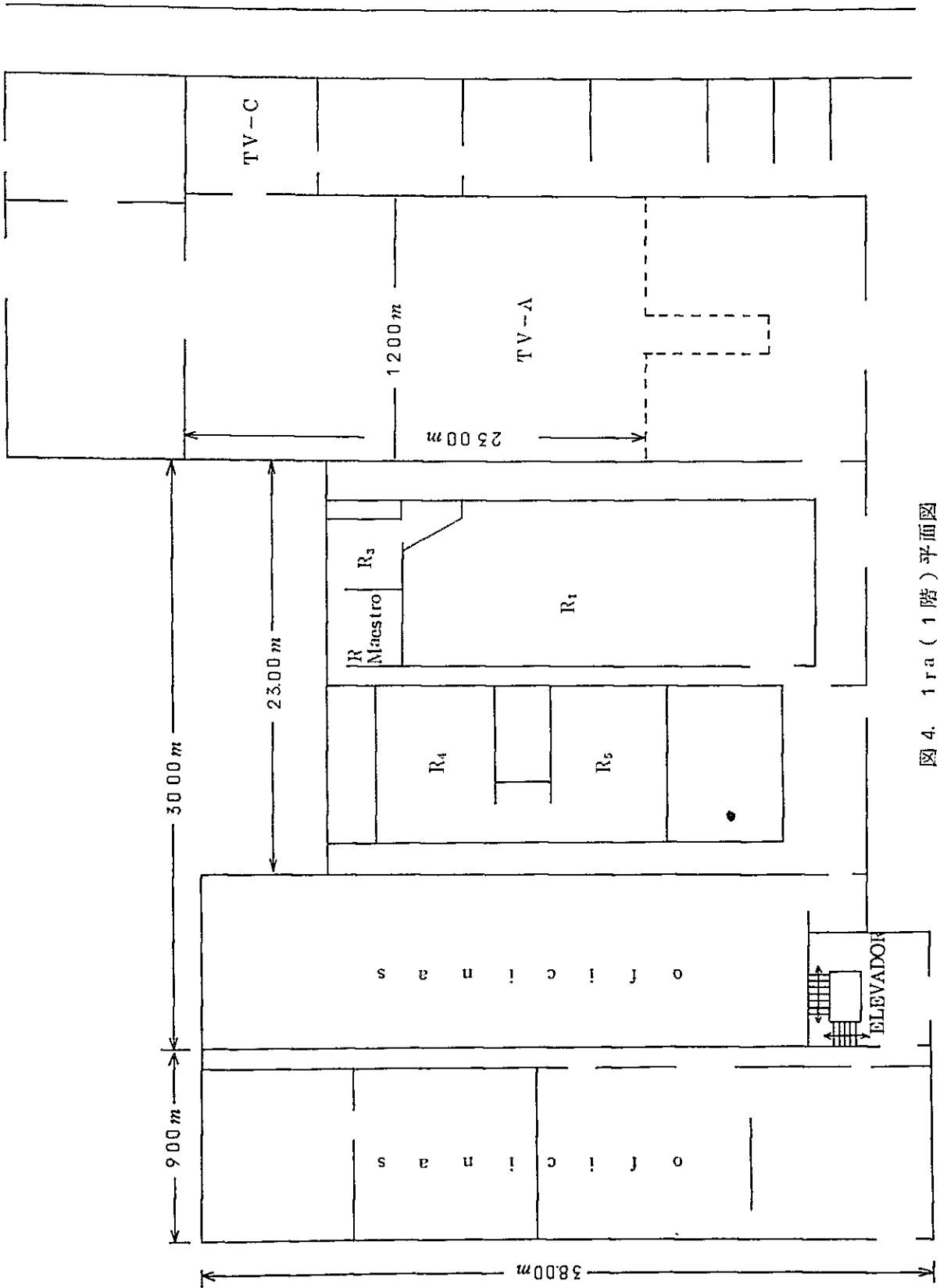


图 4. 1ra (1 階) 平面图

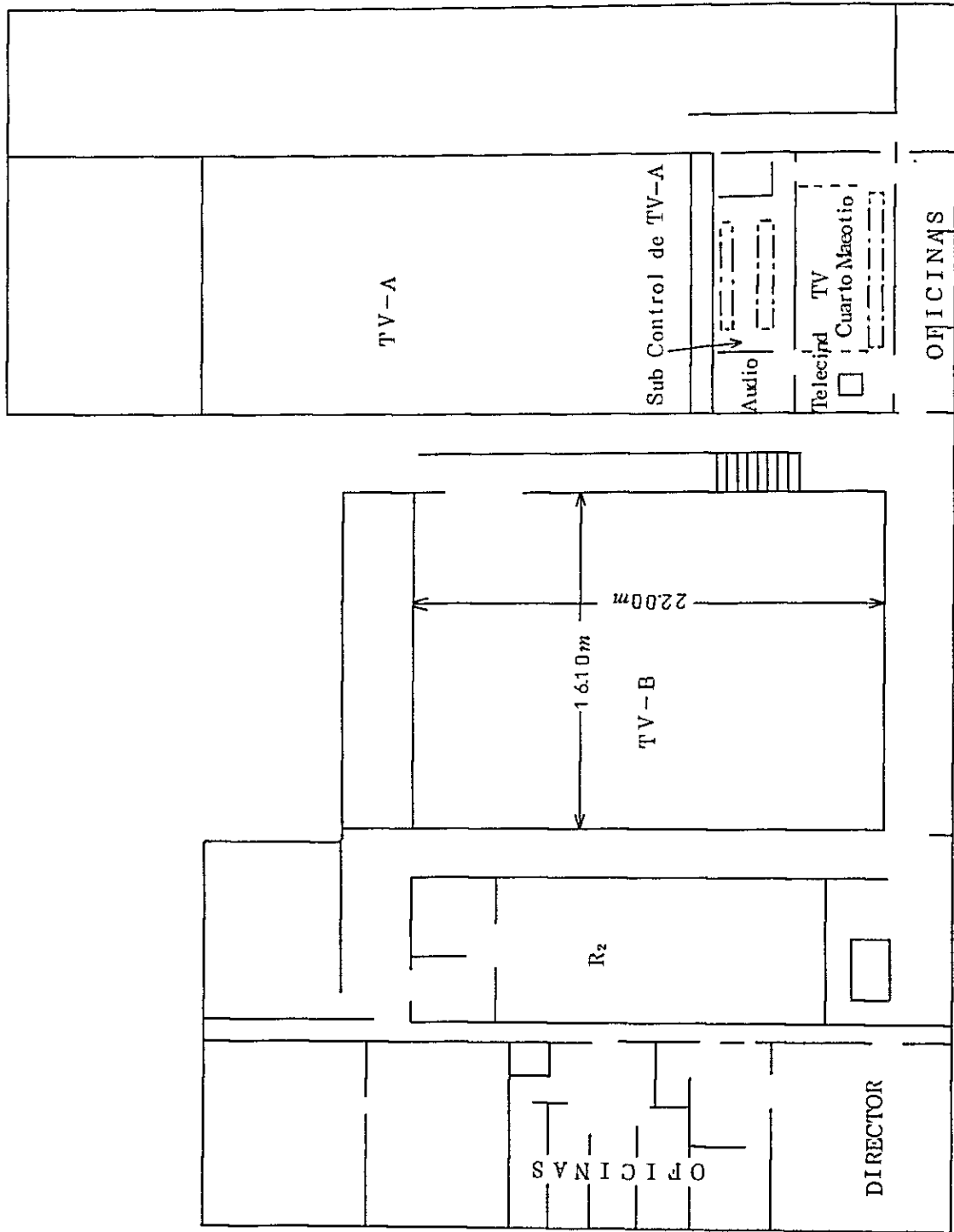


图 5 2 da (2 階) 平面图

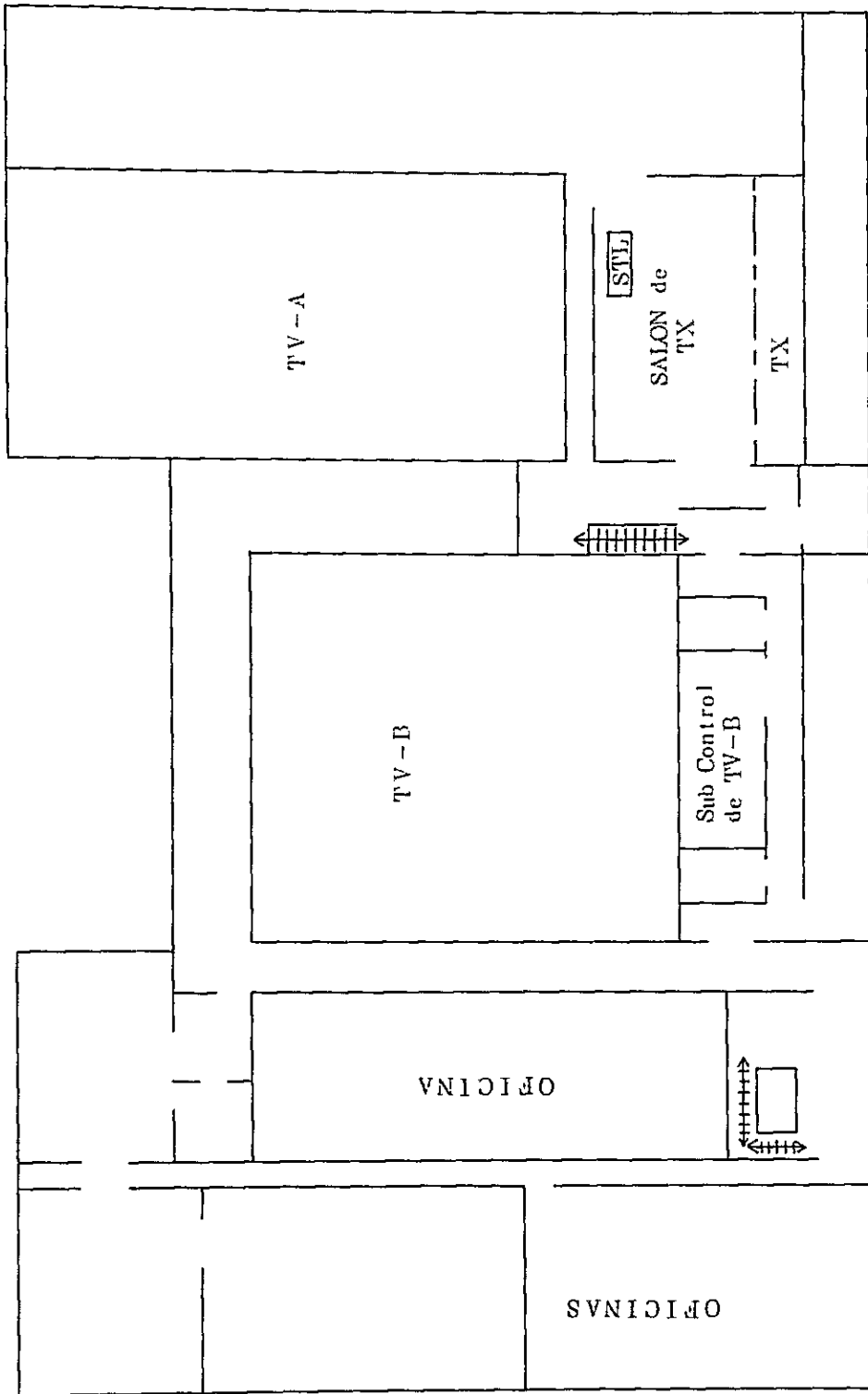


图 6 3 r a (3 階) 平面图

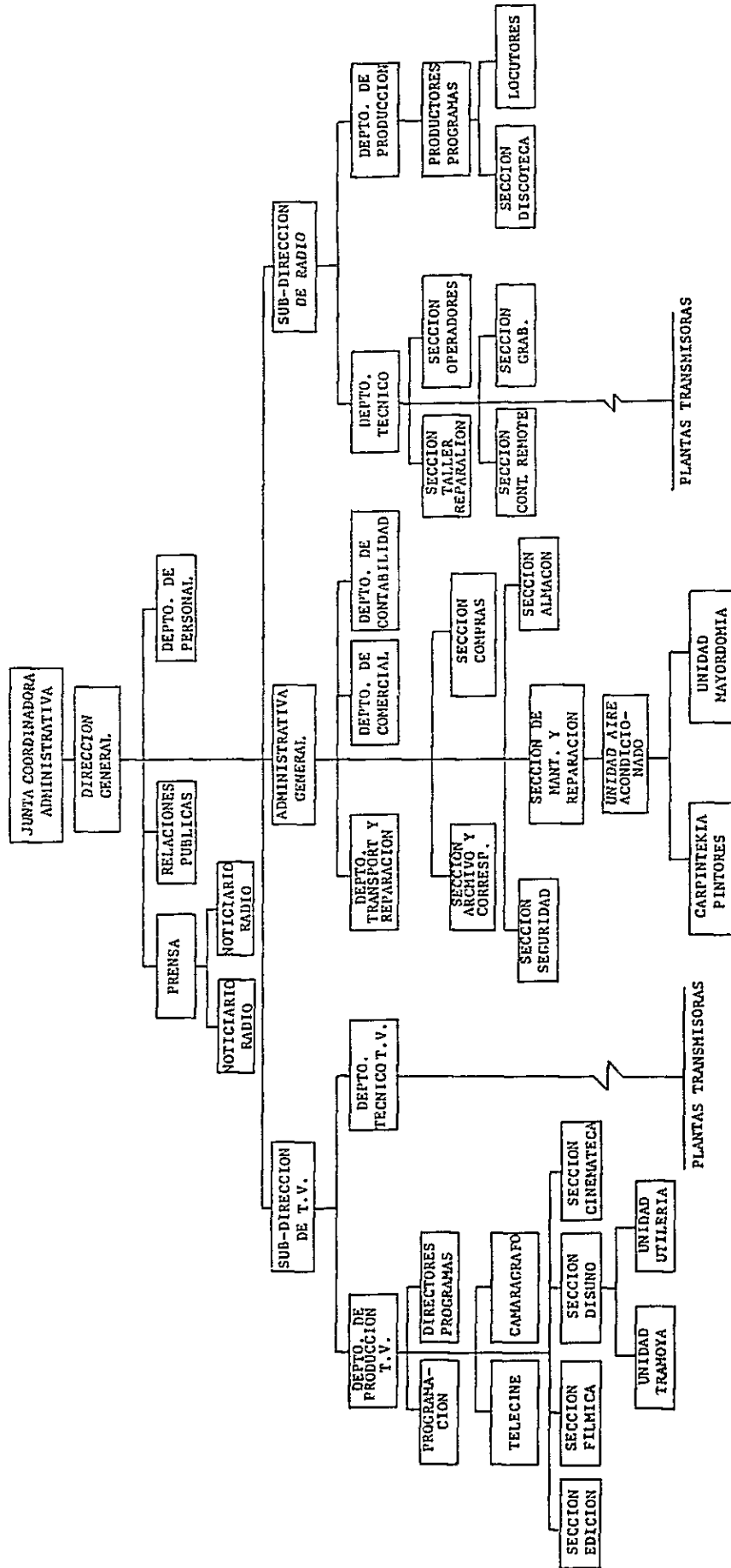
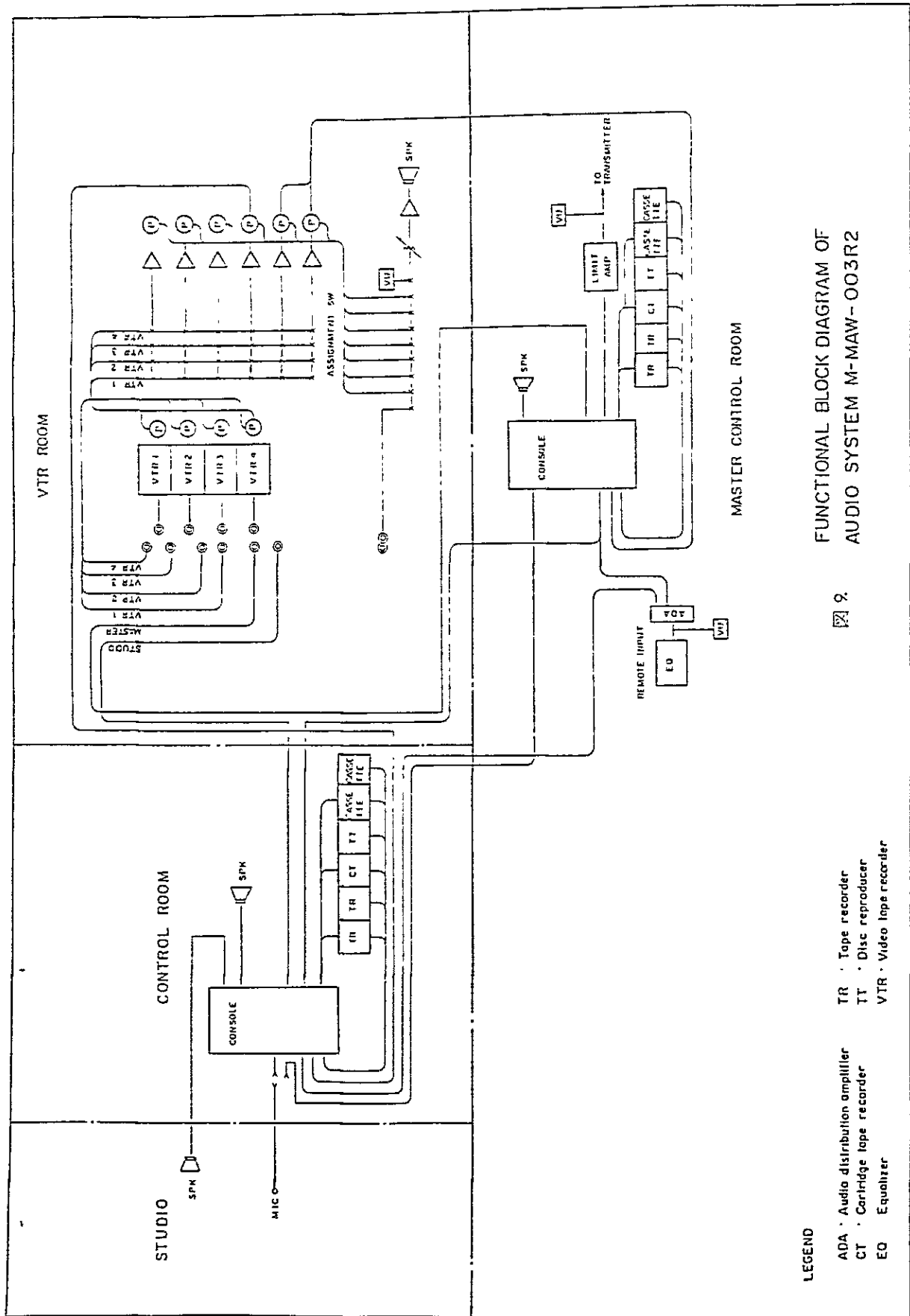


Fig 7 ORGANIGRAMA DE RADIOTELEVISION DOMINICANA 1984. 3.



FUNCTIONAL BLOCK DIAGRAM OF
AUDIO SYSTEM M-MAW-003R2

2.

LEGEND

- ADA - Audio distribution amplifier
- TR - Tape recorder
- CT - Cartridge tape recorder
- TT - Disc reproducer
- EQ - Equalizer
- VTR - Video tape recorder

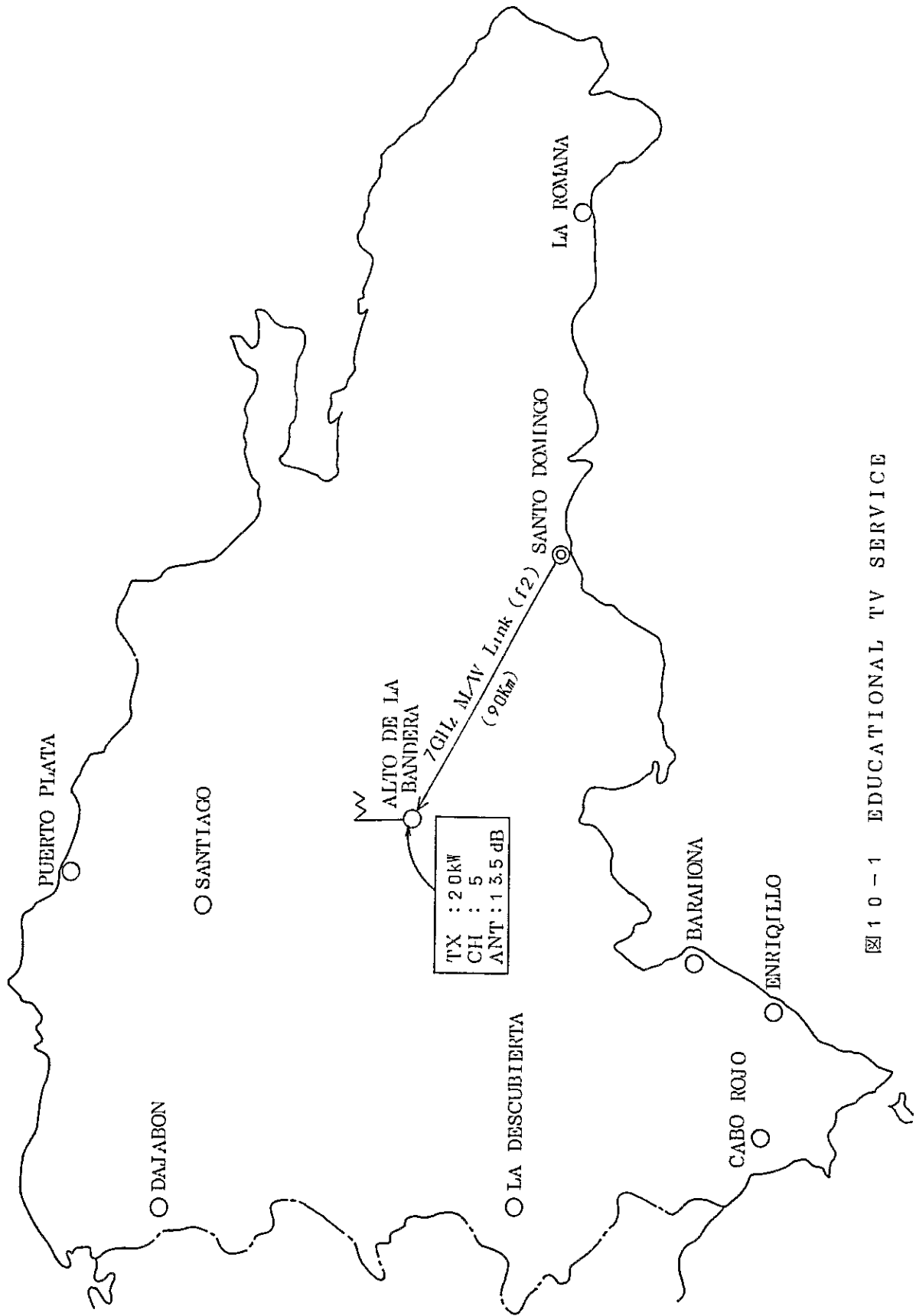


FIG 10-1 EDUCATIONAL TV SERVICE

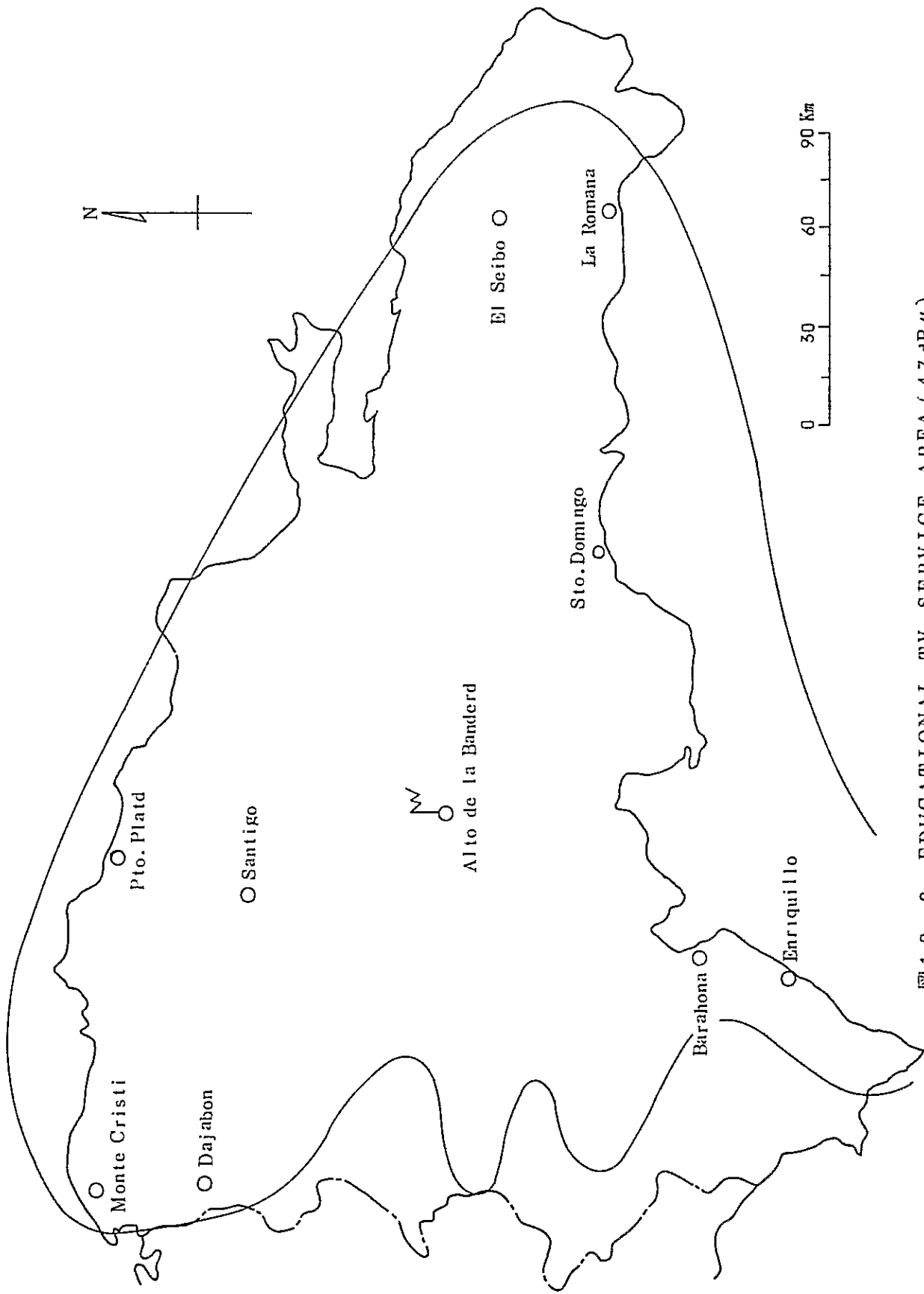


图 1 0 - 2 EDUCATIONAL TV SERVICE AREA (4 7 dBμ)

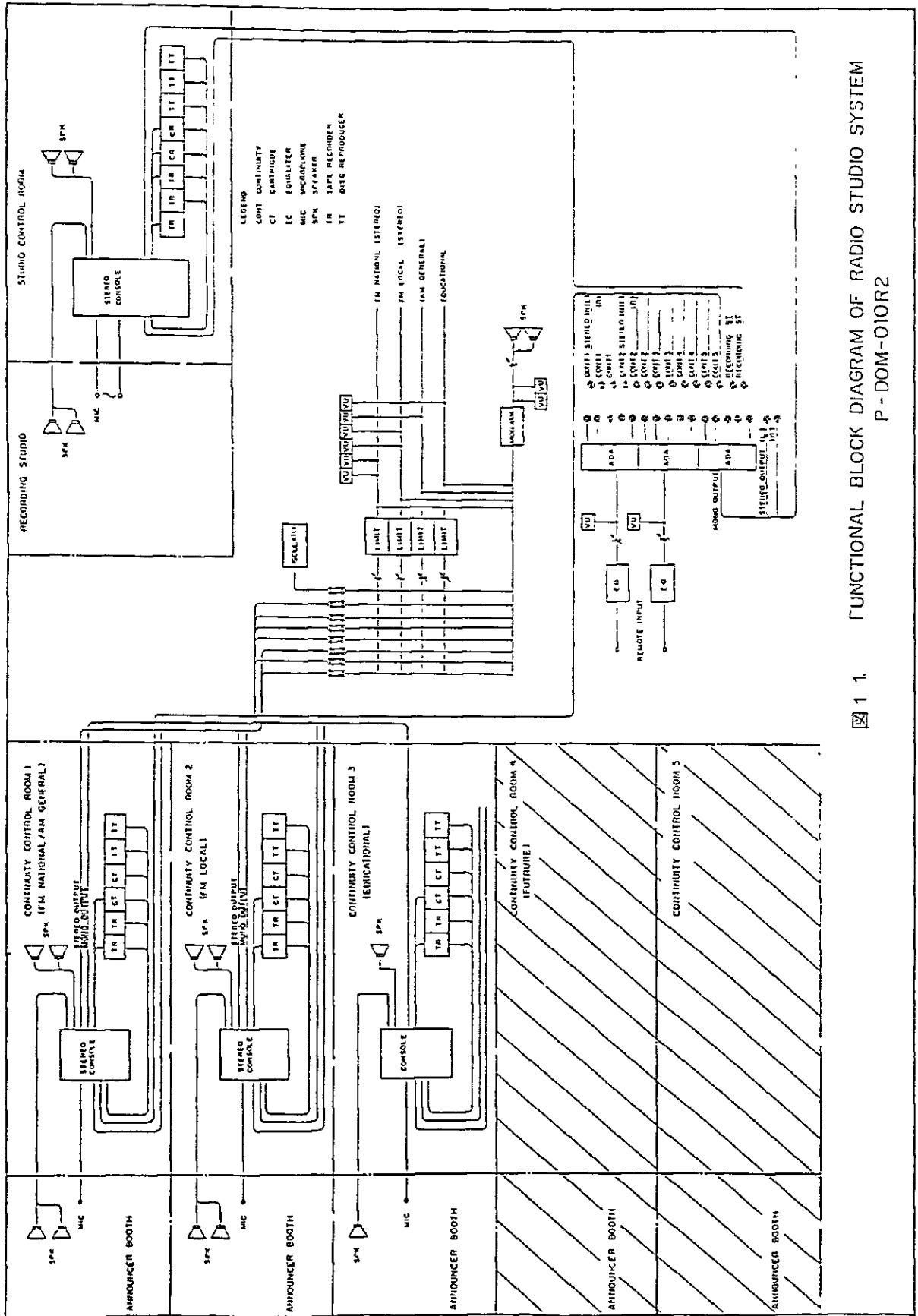


FIG 1.1. FUNCTIONAL BLOCK DIAGRAM OF RADIO STUDIO SYSTEM
P - DOM-010R2

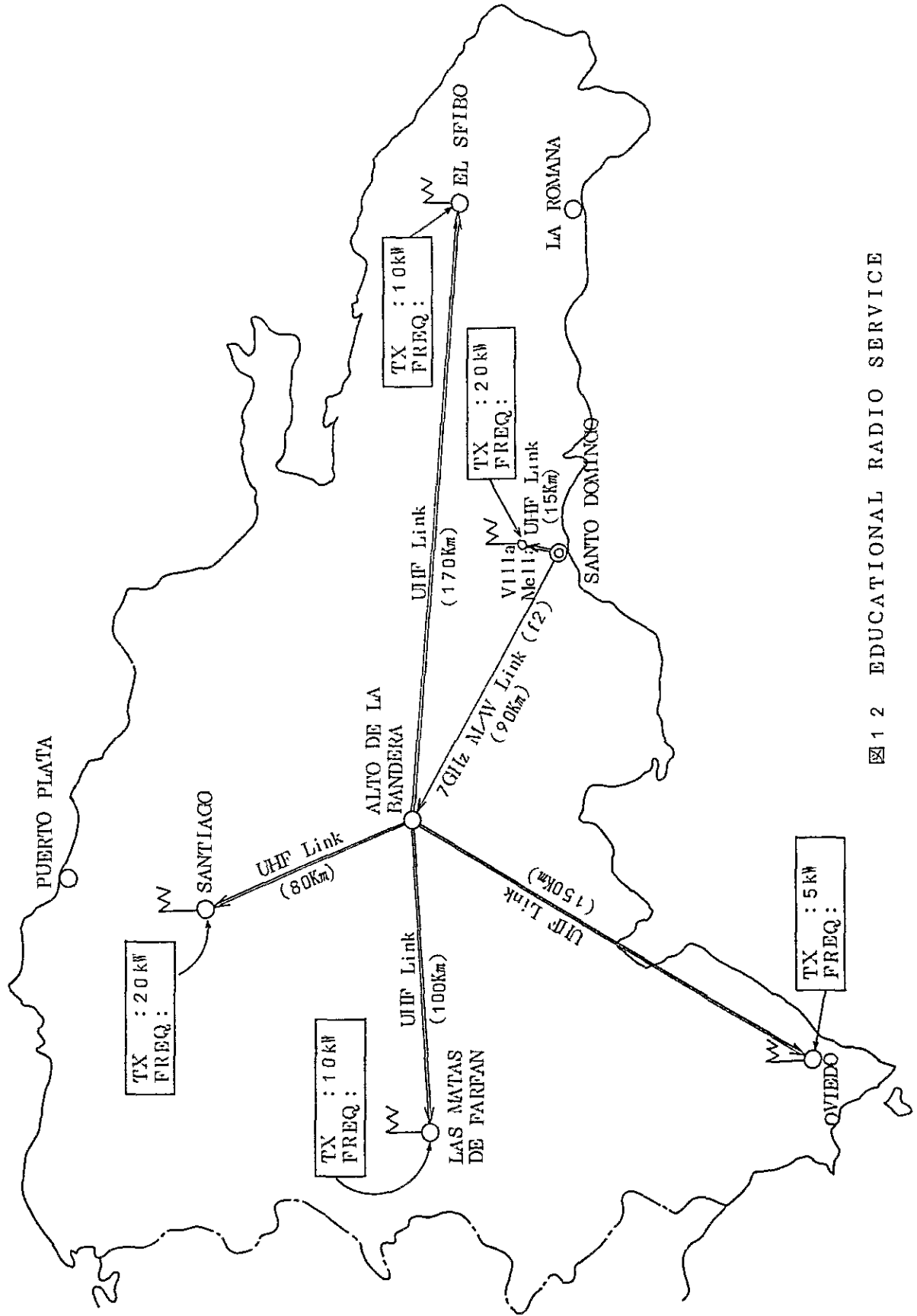


图 1 2 EDUCATIONAL RADIO SERVICE

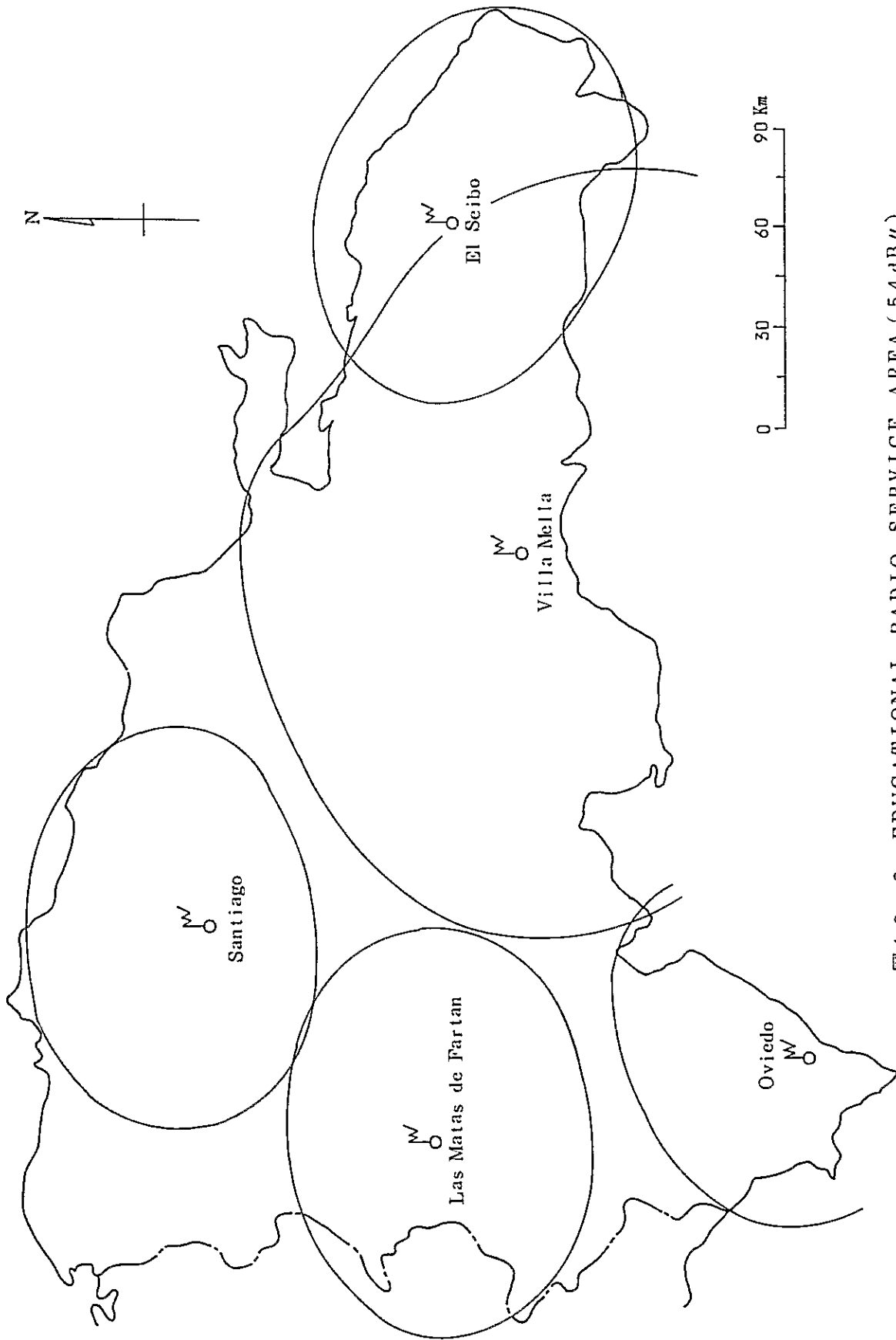


FIG 1 2 - 2 EDUCATIONAL RADIO SERVICE AREA (54 dBμ)

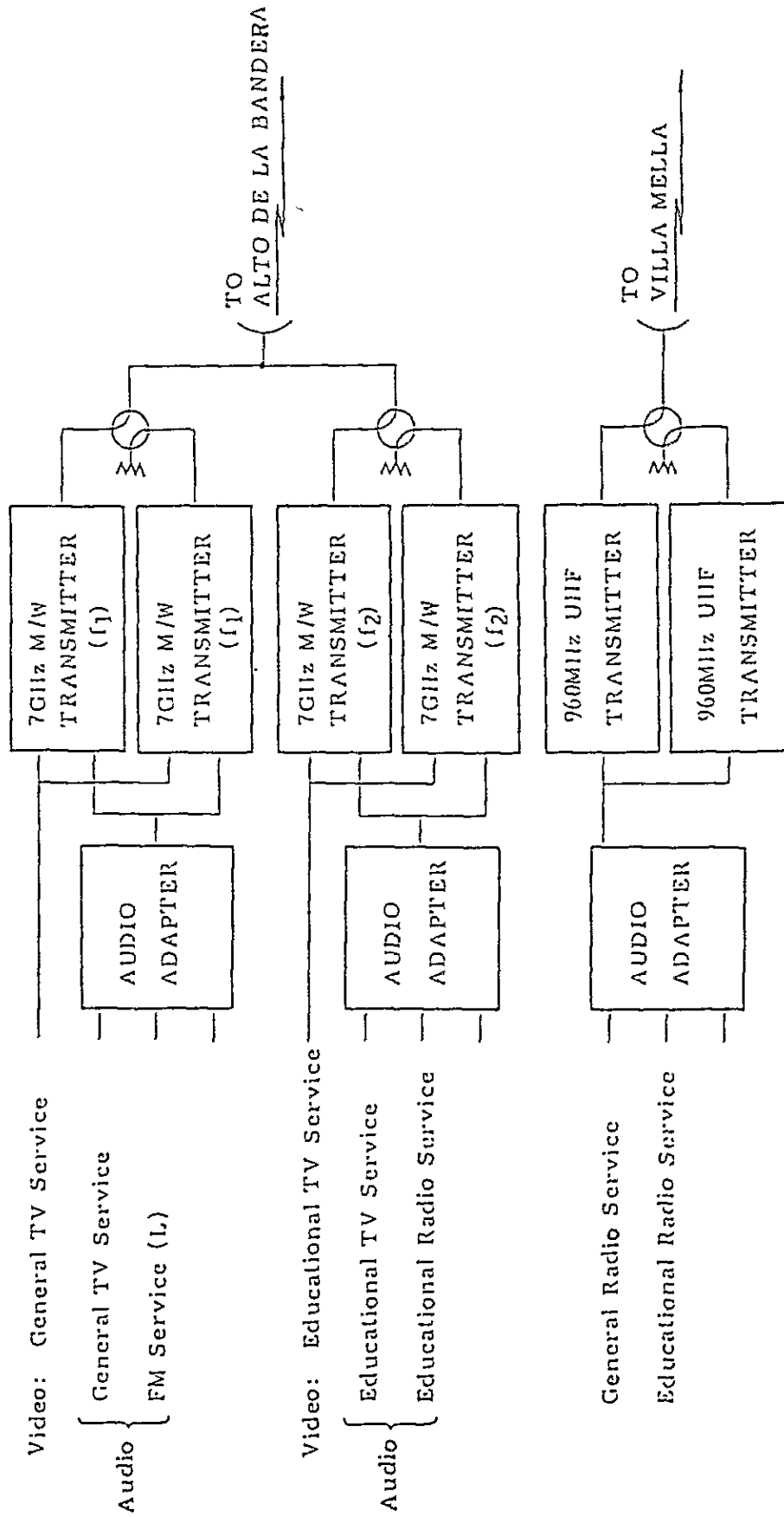


FIG 1 3. BLOCK DIAGRAM OF SANTO DOMINGO STATION

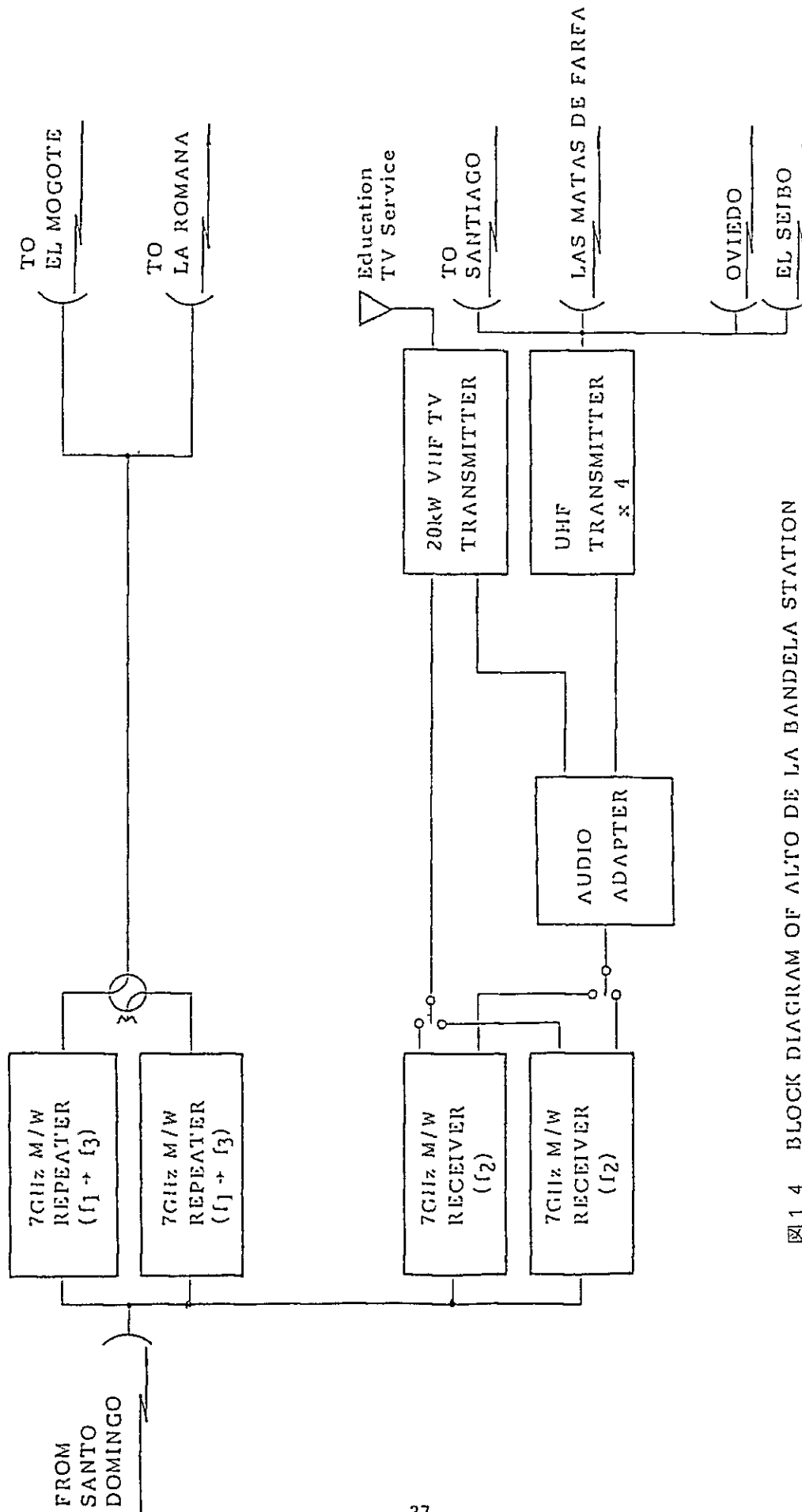


FIG 1 4 BLOCK DIAGRAM OF ALTO DE LA BANDELA STATION

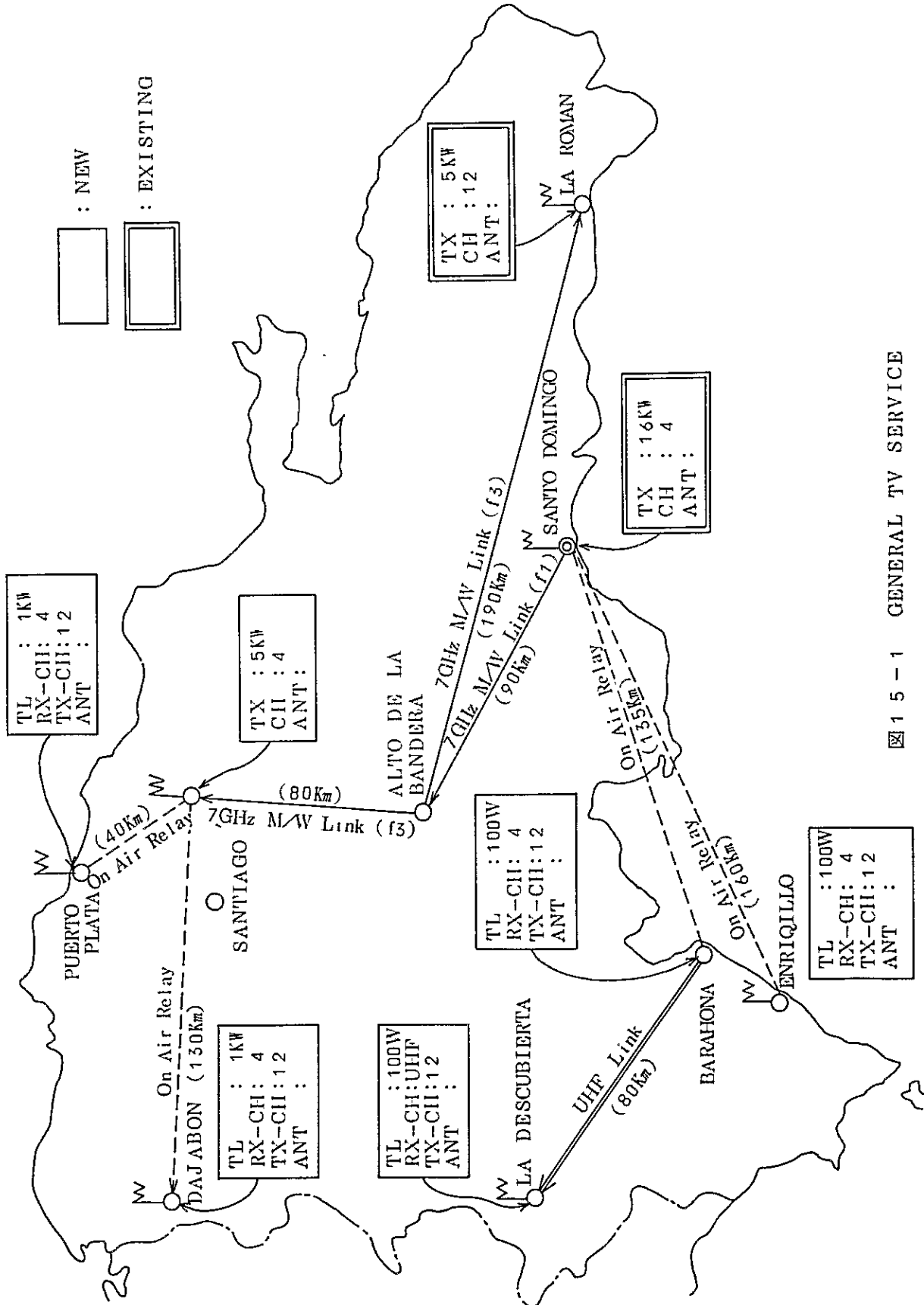


FIG 1 5 - 1 GENERAL TV SERVICE

GENERAL TV SERVICE ARDA (47dBμ)

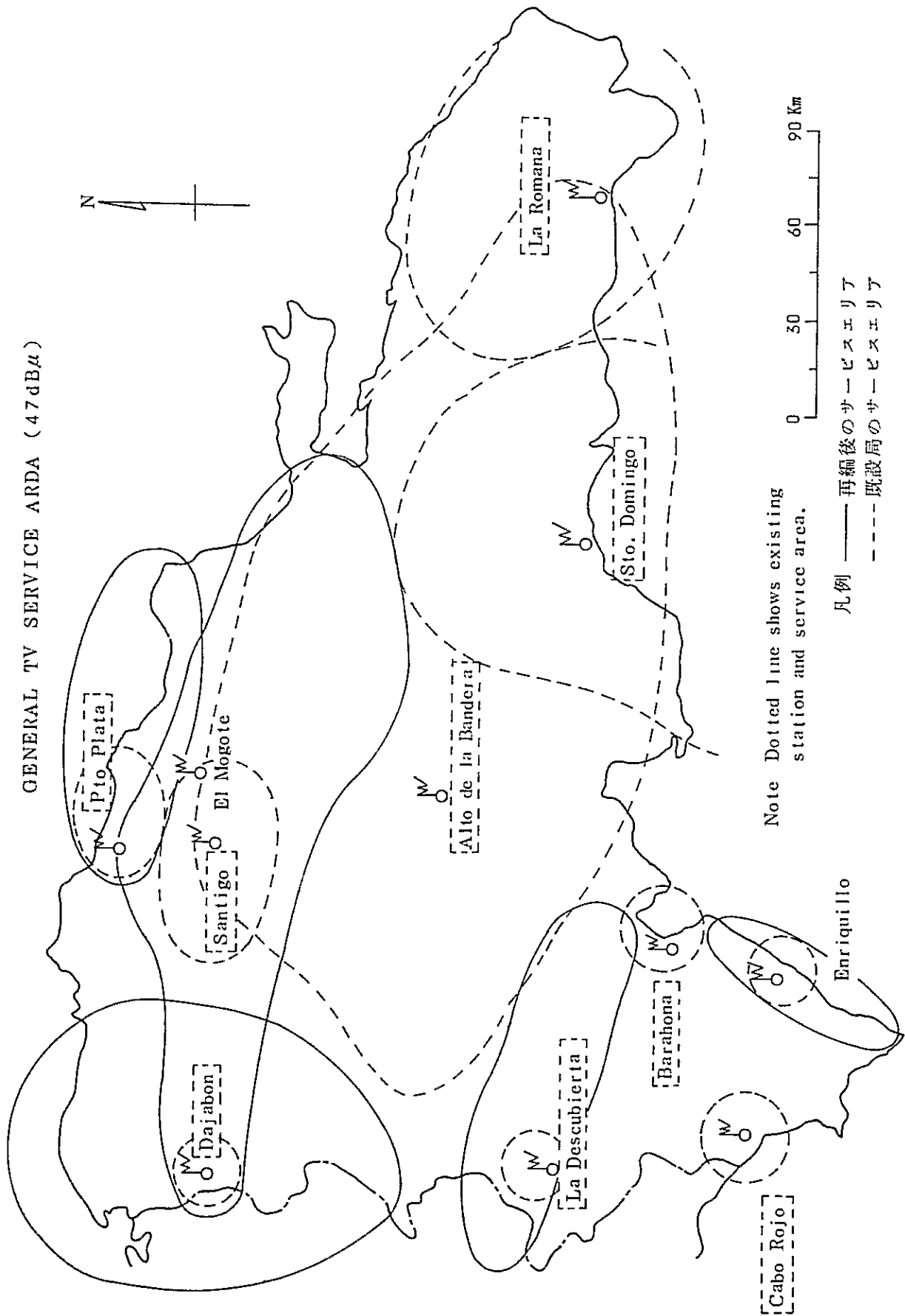


図 1 5 - 2 総合テレビサービスエリア

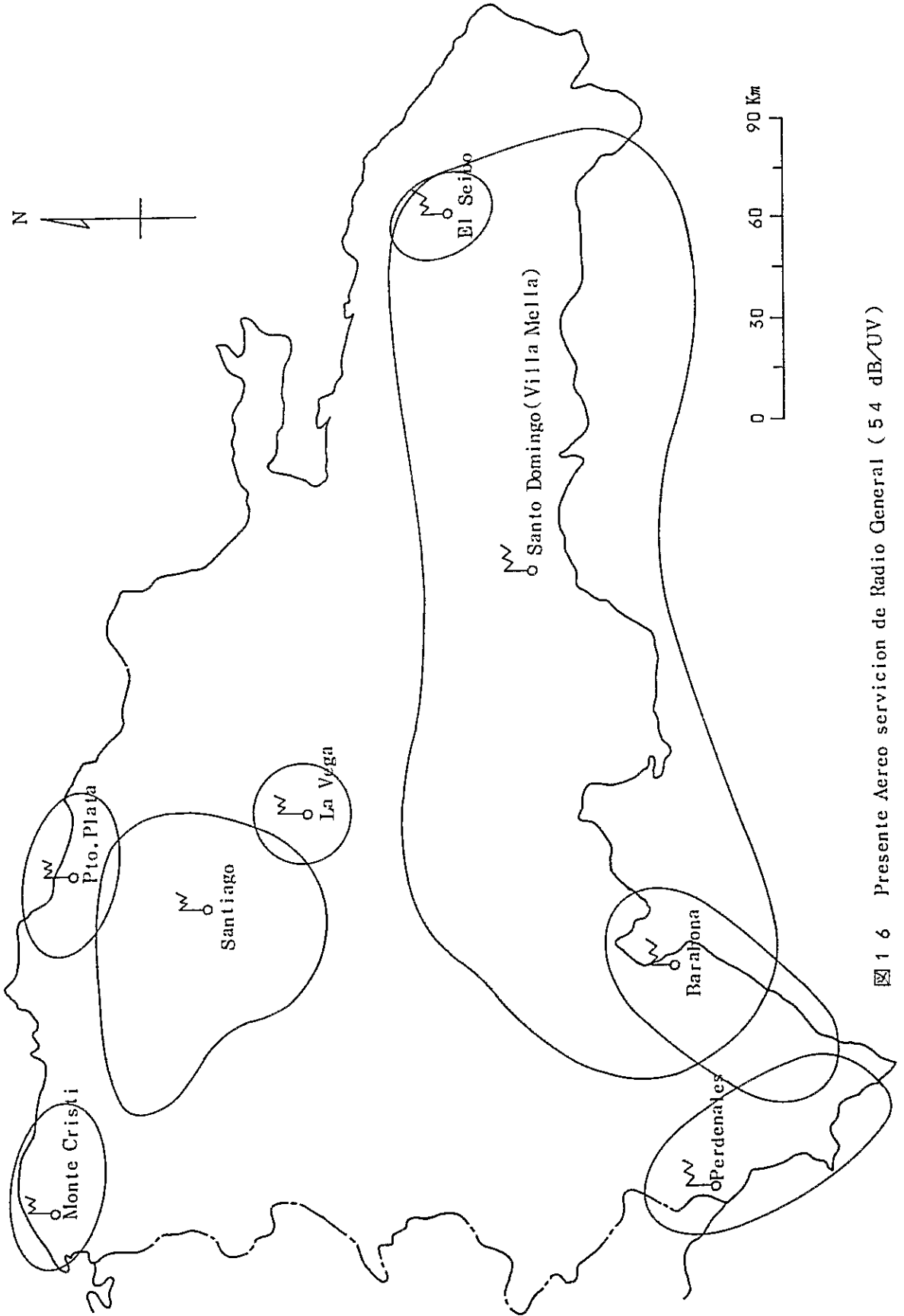
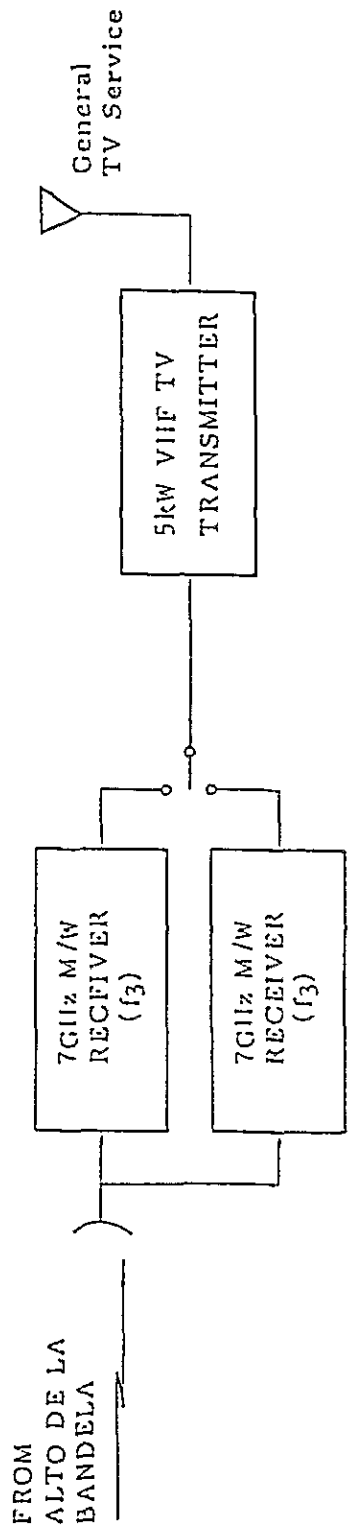


Fig 1 6 Presente Aereo servicio de Radio General (5 4 dB/UV)



BLOCK DIAGRAM OF EL MOCOCHI STATION

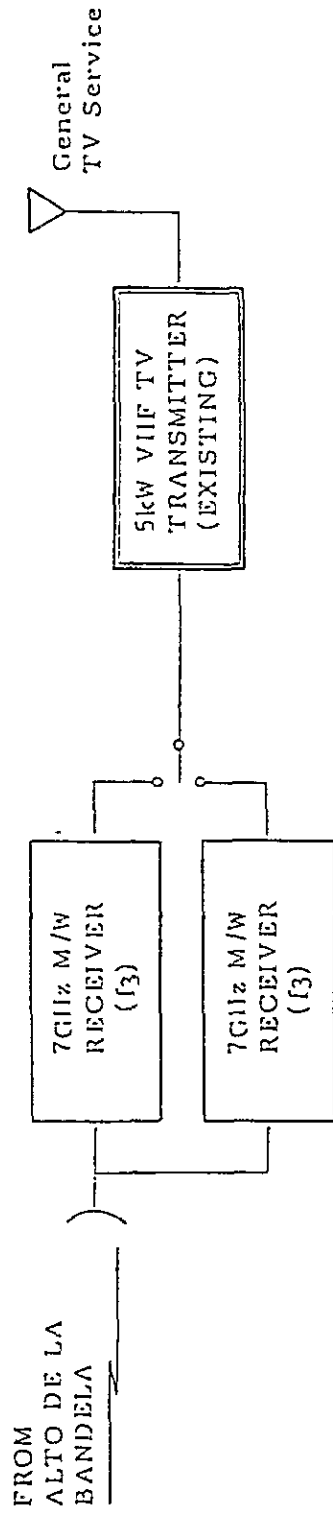


FIG 1 7. BLOCK DIAGRAM OF LA ROMANA STATION

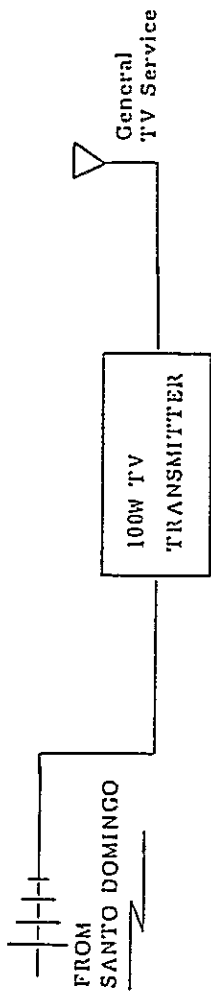


FIG 1 8. BLOCK DIAGRAM OF ENRIQUILLO STATION

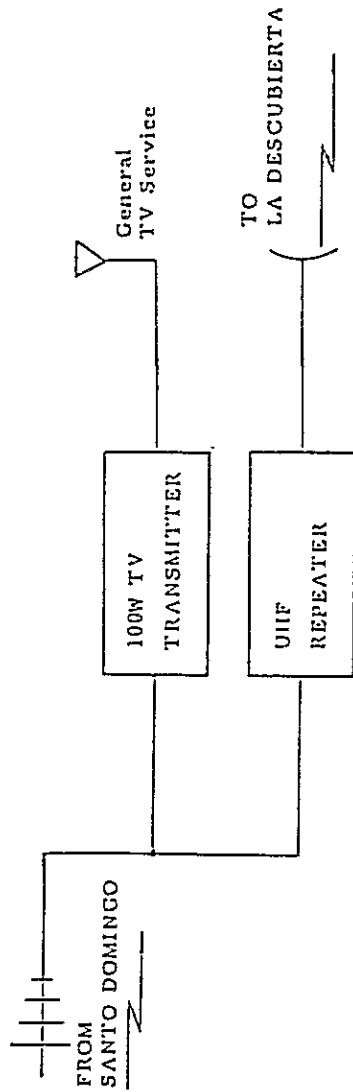


FIG 1 9. BLOCK DIAGRAM OF BARAHONA STATION

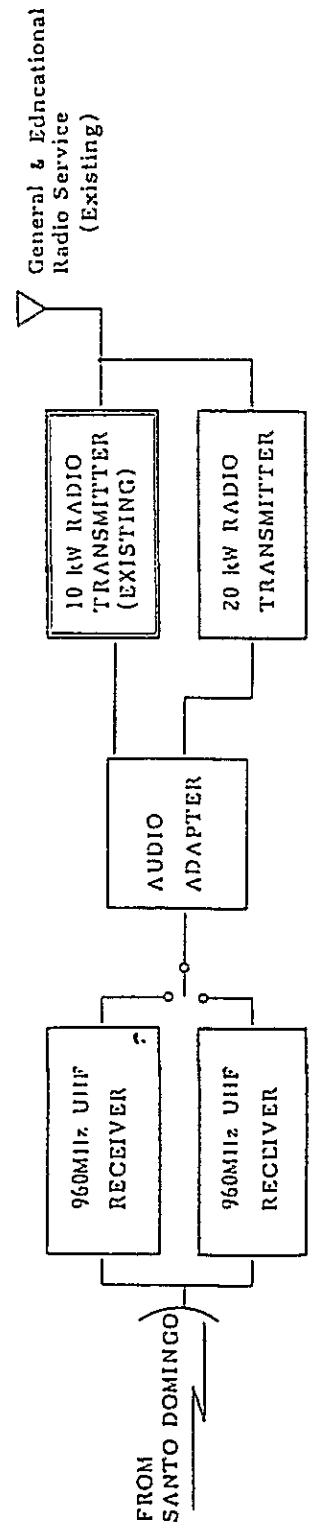


FIG 2 0. BLOCK DIAGRAM OF VILLA MELLA STATION

表 1 Existing Stations of General Radio Service

Station	TX Output Power	Frequency	Service Area (Main Cities)	Population in the Service Area	Number of the Receiver	Location of Station
1. Santo Domingo	15kW	620kHz	Santo Domingo	2,732,000 psns	980,000 sets	Villa Mella
2. La Vega	250W	1,360kHz	La Vega	240,000	86,000 "	La Vega
3. Santiago	10kW	1,270kHz	Santiago	790,000	288,000 "	Santiago
4. Puerto Plata	1kW	1,500kHz	Puerto Plata	140,000	50,000 "	Puerto Plata
5. Monte Cristi	1kW	1,360kHz	Monte Cristi	70,000	26,000 "	Monte Cristi
6. El Seibo	1kW	1,310kHz	El Seibo	120,000	43,000 "	El Seibo
7. San Juan	1kW	1,390kHz	San Juan	205,000	75,000 "	San Juan
8. Barahona	1kW	1,370kHz	Barahona	125,000	46,000 "	Barahona
9. Pedernales	1kW	1,400kHz	Pedernales	16,000	6,000 "	Pedernales
				Total:	1,600,000 sets	

Total persons:

4,438,000 psns (78.9%)

Total population in Dominican Republic:

5,628,000 psns (100.0%)/1981

表2. Existing Stations of General Television Service

Station	TX Output Power	E.R.P. (kW)	Service Area (Main Cities)	Population in the Service Area	Number of the Receivers	Location of Station
1. Santo Domingo	CH-4 16kW	64kW	Santo-Domingo	1,895,000 psns	412,000 sets	H: 20 Meters
2. Alto de la Bandera	CH-5 6kW	12kW	Translation Station for Local Service	679,000	134,000	H:2,842 Meters
3. La Romana	CH-12 5kW	10kW	La, Romana San Pedro	432,000	40,000	H: 50 Meters
4. Santiago	CH-4 1kW	10kW	Santiago	619,000	130,000	H: 350 Meters
5. Puerto Plata	CH-12 100W	1kW	Puerto Plata	165,000	9,000	H: 799 Meters
6. Dajabon	CH-12 0.25W	1W	Dajabon	40,000	2,200	H: 40 Meters
7. Descubierta	CH-12 0.25W	1W	Descubierta	26,000	1,000	H: 10 Meters
8. Barahona	CH-12 100W	400W	Barahona	82,000	4,500	H: 640 Meters

Station	TX Output Power	E.R.P. (kW)	Service Area (Main Cities)	Population in the Service Area	Number of the Receivers	Location of Station
9. Cabo Rojo	CH-12 100W	400W	Cabo Rojo Pedernales	12,000	700	H: 30 Meters
10. Enriquillo	CH-12 0.25W	1W	Enriquillo	42,000	2,300	H: 20 Meters
				Total:	740,000 sets	

Total persons: 3,992,000 (70.9%)

Total population of Dominican Republic: 5,628,000 (100.0%)/1981

表3. Educational Television Service

Name of Station	TX Output Power (kW)	E.R.P. (kW)	Antenna System & Height of Tower	Population in the Service Area	Number of TV Receiver	Location of TX Station
Alto de la Bandera	CH-5 10kW x 2	430kW	2-Dipole Panel Ant. 100 meters	3,940,000 psns	520,000 sets	H: 2,842m

Total persons: 3,940,000(70%) Total: 520,000(abt 70%)

Total population: 5,628,000(100%) 740,000(100%)

表 4. Educational Radio Service

Name of Station	TX Output Power (kW)	Frequency (kHz)	Antenna System (Type & Height)	Population in the Service Area	Service Area	Location of TX Station
Villa Mella	20kW	*1,000kHz	EXISTING ANTENNA (REPAIRING MATERIALS)	2,440,000 psns	Please refer to the attached map	near by Sto-Domingo
Santiago	20kW	*1,000kHz	EXISTING ANTENNA (REPAIRING MATERIALS)	1,305,000 "	"	Santiago
El Seibo	10kW	*1,000kHz	"	486,000 "	"	El Seibo
Oviedo	5kW		110M, GUY WIRE (NEW ANTENNA)	184,000 "	"	Oviedo
Las Matas de Farfan	10kW	*1,000kHz	EXISTING ANTENNA (REPAIRING MATERIALS)	402,000 "	"	Las Matas de Farfan

Total persons: 4,817,000 psns (85.6%)

Total population in Dominican

Republic: 5,628,000 psns (100.0%)/1981

* : UNDECIDED

表 5. List of Existing Facilities

Name of Station: Radio Transmitting Station

<p><u>Villa Mella Station</u> AM Radio Transmitter (15KW) AM Radio Transmitter (10KW) UHF (960MHZ) Receiver Audio Limiter Engine Generator (50KW) Antenna Tower (about 396ft)</p>	<p>1 set 1 set 1 set 1 set 1 set 1 set</p>		<p>Contel, USA Sintronic, USA</p>	<p>15KW, 620KHZ, Installed on 1977. 10KW, 620KHZ, Installed on 1980 for Stand- by TX. with parabollic antenna.</p>
<p><u>La Vega Station</u> AM Radio Transmitter (250W)</p>	<p>1 set</p>		<p>Construction casera</p>	<p>250W, 1360KHZ, Installed on 1958. with Yagi antenna. (40ft x 40ft)</p>
<p><u>Santiago Station</u> AM Radio Transmitter (1KW) AM Radio Transmitter (10KW) VHF (96.1MHZ) Receiver Audio Limiter Modulation Monitor Antenna Tower (180ft)</p>	<p>1 set 1 set 1 set 1 set 1 set 1 set</p>		<p>Collins, USA Sintronic, USA</p>	<p>1KW, 1270KHZ, Installed on 1952. 10KW, 1270KHZ, No operando danado. with Yagi Antenna.</p>

<u>Puerto Plata Station</u> AM Radio Transmitter (1KW) VHF (96.1MHZ) Receiver Antenna Tower (160ft)	1 set 1 set 1 set		RCA, USA	1KW, 1500KHZ, Installed on 1967. with Yagi Antenna.
<u>Montecristy Station</u> AM Radio Transmitter (1KW) VHF (96.1MHZ) Receiver Antenna Tower (160ft)	1 set 1 set 1 set		Gates	1KW, 1360KHZ, Installed on 1956. with Yagi Antenna.
<u>El Seibo Station</u> AM Radio Transmitter (1KW) VHF (96.1MHZ) Receiver Antenna Tower (180ft)	1 set 1 set 1 set		Gates	1KW, 1310KHZ, Installed on 1957. with Yagi Antenna.
<u>San Juan de la Maguana Station</u> AM Radio Transmitter (1KW) VHF (96.1MHZ) Receiver Antenna Tower (180ft)	1 set 1 set 1 set		Gates	1KW, 1390KHZ, Installed on 1957. with Yagi Antenna.
<u>Barahona Station</u> AM Radio Transmitter (500W) VHF (96.1MHZ) Receiver Antenna Tower (abt 180ft)	1 set 1 set 1 set		Construction castera	1370KHZ, 500W, 1370KHZ. with Yagi Antenna.

<u>Pedernales Station</u> Am Radio Transmitter (250W) VHF (96.1MHZ) Receiver L-type Antenna (40ft x 40ft)	1 set 1 set	Collins, USA	250W, 1400KHZ, Installed on 1954. with Yagi Antenna.
<u>Alto de la Bandera Station</u> FM Radio Transmitter (3KW) FM Radio Transmitter (250W) Antenna Tower (120ft) Engine Generator	1 set 1 set 1 set 1 set	Cintronic, USA Collins, USA	3KW, 96.1MHZ Installed on 1980. 250W, 96.1MHZ, Installed on 1954. Common use

表 6. List of Existing Facilities

Name of Station: TV Transmitting Stations

as of End/Feb/84

Equipment	Q'ty	Model	Maker	Remarks
1. Cabo Rojo VHF TV Translator Antenna Tower Antenna Panel				
2. Enriquillo Station VHF TV Translator (0.25W) Antenna Tower (100ft) Antenna (R & Tr)	1 set 1 set 1 set/1 set	TR-1800	Piher, S.A. "	Yagi antenna and Dipole Panel Antenna.
3. La Descubierta Station VHF TV Translator (0.25W) Antenna Tower (80ft) Antenna Panel (R & Tr)	1 set 1 set 1 set/1 set	TR-1800	Piher, S.A.	Yagi antenna and Dipole panel antenna.
4. Dajabon Station VHF TV Translator (0.25W) Antenna Tower (no use, pole only) Antenna Panel (R & Tr)	1 set 1 set 1 set	TR-1800	Piher, S.A.	

Equipment	Q'ty	Model	Maker	Remarks
5. La Romana Station VHF TV Translator (5KW) Antenna Tower (500ft) Antenna Panel (R & Tr)	1 set 1 set 1 set 1 set/1 set		RCA U.S.A. "	Yagi antenna and Dipole panel antenna.
6. Puerto Plata VHF TV Translator Antenna Tower				
7. Santiago Station VHF TV Translator (250W) Antenna Tower (no use, only pole) Antenna Panel (R & Tr)	1 set 1 set 1 set/1 set		Acrodyne, USA "	Yagi Antenna and Dipole Panel Antenna.
8. Barahona Station VHF TV Translator (100W) Antenna Tower (80ft) Antenna Panel (R & Tr)	1 set 1 set 1 set/1 set	TR-1800	Piher, S.A. "	Yagi Antenna and Dipole Panel Antenna.
9. Santo Domingo Station VHF TV Transmitter VHF TV Transmitter Dummy Load (for 16KW TX)	1 set 1 set 1 set	TTG-16L TT-5A	RCA USA RCA, USA "	Visual Power: 16KW/Aural Power: 3.6KW, for CH-4. Visual Power: 5KW/Aural Power: 2.5KW, for CH-4. (installed on 1951, old type)

Equipment	Q'ty	Model	Maker	Remarks
Monitor (video & On-air)	2 sets			
Microwave Equipment	1 set/1 set		Microwave Asc	between Santo Domingo and Alto de la Dandera, 2.0W, 7GHZ (6.4GHZ to 7.4GHZ)
Portable Microwave Link	1 set/1 set		"	between Santo Domingo and Alto de la Dandera, (1W, 7GHZ)
Oscilloscope	1 set		Leader, USA	
Wave Form Monitor	1 set	528	Tek	
Audio Limitter	1 set	TV-M1	Bolmac	
Antenna Tower (300ft)	1 set		USA	two transmission line.
Antenna Panel	1 set		USA	6-bey, Super turn stile antenna.
Video Processor	1 set	P-50	3M, USA	

表7. Existing studio equipment for Santo Domingo TV Station

1. For Studio A
 - (1) Studio lighting equipment : enough Q'ty
 - (2) Studio camera : 3 sets, RCA model: TK-760
2 sets, RCA, JVC

2. For sub-control room (control de estudio-A)
 - (1) Recording VTR : VO-5850
 - (2) PYB VTR : VP-5000
 - (3) ATR : RCA, RT-21
 - (4) Audio Mixer : Tapco C-12, 12 inputs
 - (5) Switcher : American Data, 2104 x 10 inputs
 - (6) Character Generator : 3M, D-3016
 - (7) Dimmer : Berkey Colortran, control capacity 60.

3. For Master control room (TX control)
 - (1) Telecine : RCA, Type-7, x 2 35mm projector
 - (2) Master Sync : TEK-1470 and TEK-1474
 - (3) Auto change over switch : American Data, 410A
 - (4) Master Switcher : 3M,]]]4 x 9 inputs
 - (5) Program Monitor : PVM-12]]F
 - (6) CCU : 3 sets/RCA, TK-760 (in the Master control room)
 - (7) VTR : 3 sets x VP-5000
 - (8) Time base Corrector (TBC) : 3 sets x BVT-1000
 - (9) Waveform Monitor (WFM) : 2 sets x TEK-528
 - (10) Vector Scope (Vector) : 2 sets x TEK - 1420
 - (11) Processor : 3M, P-50

4. For Salon of transmission
 - (1) BHF TV Transmitter : RCA, 16KW/3KW VHF Transmitter (installed in 1981)
 - (2) VHF TV Transmitter : RCA (installed in 1952)
 - (3) FPU : Micro Wave (USA)

5. For OB Van
 - (1) Samll type OB Van : made by RTVD-1 set

表 8. General Television Service

Name of Station	TX Output Power (kW)	E.R.P. (kW)	Antenna System & Height of Tower	Population in the Service Area	Number of TV Receiver	Location of TX Station
El Mogote	5kW	70kW	2-Dipole Panel Ant. 70 meters	1,471,000 psns		H: 1,249M
Puerto Plata	1kW	22.7kW	* " 30 meters	706,000		H: 799M
Dajabon	1kW	6.35kW	* " 30 meters	275,000		H: 40M
La Descubierta	100W	1.27kW	* " 30 meters	226,000		H: 10M
Enriquillo	100W	0.76kW	" 30 meters	25,000		H: 40M
Barahona	100W	0.4kW	" 15 meters	140,000		H: 640M

* mark: The towers shall be supplied by RTVD

Total persons: 5,417,000 (96.2%)
 Total population in Dominican Republic: 5,628,000 (100%)/1981.

付 属 資 料

1. Terms of Reference



RADIODOTELEVISION DOMINICANA

No. 1072

12 de octubre de 1983

Señor Masahiro Maeda
Excelentísimo Embajador del Japón
en la República Dominicana,
Ciudad. -

Ref. : Solicitud de Estudio de
Factibilidad Red de Radio
y Televisión Cultural Na-
cional.

Excelentísimo señor Embajador :

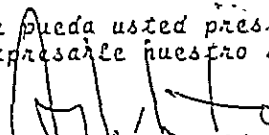
En referencia a nuestra solicitud del 28 de octubre pa-
sado, le solicitamos el envío de una misión técnica por el
Gobierno del Japón para considerar la instalación de una red
de radio y televisión cultural de cobertura nacional.

Nos gustaría cubrir los siguientes aspectos :

1. Distribución de canales y frecuencias para el territorio nacional, recomendando los criterios sobre la capacidad de transmisión.
2. Sugerir los relevos más adecuados para la cobertura nacional, tomando en cuenta las instalaciones existentes.
3. Preparar un diseño preliminar de ingeniería, incluyendo estimado de costo y planos de difusión.

Sería de nuestro interés, además, que los documentos producidos, de ser posible, estén en idioma español y que en el estudio se contemple la posibilidad de que algunos de nuestros técnicos reciban el entrenamiento necesario para contribuir en la realización del proyecto, continuar operándolo y para producir y programar material cultural y educativo.

Agradecemos la atención que le pueda usted prestar a esta solicitud y aprovechamos para expresarle nuestro sentimiento de alta consideración y estima.


Lic. Alberto Meléndez,
Director General

TERMS OF REFERENCE
TECHNICAL ASSISTANCE FOR
STUDY AND DESIGN
FOR
AN INTEGRATED RADIO AND TELEVISION SERVICING
SYSTEM

According to our previous Note sent to you on October 28, 1982, in which we asked you to take the corresponding measures in order that a preliminary technical cooperation Mission be dispatched by the Japanese Government for the installation of a cultural broadcasting radio and TV station feasibility study and the respective study for the preparation of the color programming, covering all dominican territory,

The specific work to be done by the Mission would be:

- 1) *Formulating Channels and Frequencies Distribution Plan, covering all national territory.*
- 2) *Recomending transmission station's main parameters.*
- 3) *Recomending the most effective system for the relief of these signals to make possible the service in the capital zones, all its environments and the zones of La Romana, Santiago, Enriquillo, Puerto Plata, Montecristi, Dajabón, La Descubierta, Pedernales and Barahona.*
- 4) *Propagation and profile's Plan Preparation and its confirmation by means of propagation studies.*
- 5) *Recomending appropriate places for broadcasting and repeating stations instalation, taking into account the existing stations and instalations.*

6) Preparation of a preliminary engineering design.

7) Preparation of an estimate of inversion's costs.

Reports: Preparation of reports in spanish as follows:

a) Draft of a Final Report 10 copies

b) Final Report 5 copies

Training:

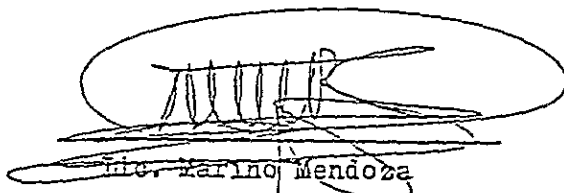
After finishing the above-mentioned study, the local engineers who have acted as counterparts, should receive an adequate training in order to be able to carry through the project as well as its subsequent operation in the confection of educational and cultural programs.

2. Scope of Work

SCOPE OF WORK
FOR
THE FEASIBILITY STUDY ON
THE RADIO AND TELEVISION DEVELOPMENT PROJECT
IN
THE DOMINICAN REPUBLIC

AGREED UPON BETWEEN
RADIOTELEVISION DOMINICANA
AND
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Santo Domingo April, 1984



Lic. Marino Mendoza
General Director
RADIOTELEVISION
DOMINICANA (RTVD)



Hiroshi TSUKADA
LEADER OF THE JAPANESE
PRELIMINARY STUDY TEAM,
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY (JICA)

I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of the Dominican Republic, the Government of Japan has decided to conduct the feasibility study on the Radio and Televisión Development Project (hereinafter referred to as "the Study") in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programmes of the Government of Japan, will carry out the Study in close cooperation with Radiotelevisión Dominicana (hereinafter referred to as "RTVD") and the authorities concerned of the Government of the Dominican Republic.

The present document sets forth the Scope of Work for the Study.

II. OBJECTIVE OF THE STUDY

The Study aims to conduct the feasibility study of establishing stations for cultural broadcasting radio and television network.

III. OUTLINE OF THE STUDY

1. Study area

Throughout the country

2. Scope of the Study


The Study will consist of field work in Dominican Republic and analysis work in Japan.


Contents to be covered by the Study are as follows.

- 1). To establish stations for cultural broadcasting radio and television network.
- 2). To modify existing facilities in compliance with established cultural network. . .

Items to be covered by the Study are as follows.

- 1). Field work
 - A. Collection of data and information :
 - a. General statistics on population, education, economy, etc.
 - b. Laws, regulations and codes concerning broadcasting
 - c. Organization and personnel
 - d. Broadcasting development plan
 - e. Existing facilities
 - transmission facilities
 - program transmission facilities
 - studio facilities
 - other relevant facilities
 - f. Other reference data
 - maps, electric power services, meteorological data, etc.
 - B. Field Survey
 - a. Present situation of broadcasting facilities and other relevant facilities
 - b. Topographic condition
 - c. other needed
- 2). Analysis Work
 - A. Preparation of the Alternatives

- 
- B. Identification of appropriate plan
 - a. Basic management plan
 - b. Program planning
 - c. Channel plan
 - d. Facilities plan
 - e. Selection of site
 - f. Construction plan
 - g. Staff plan
 - h. Estimation of initial investment, management, operation and maintenance costs
 - i. Recommendation of management and operation
 - j. Preparation of implementation schedule
 - C. Evaluations
 - a. Financial analysis
 - b. Economic analysis



IV. SCHEDULE OF STUDY

The study shall be undertaken in accordance with the schedule of Study. (refer to the Annex).

V. REPORT

JICA will prepare and submit the following reports in English to the Government of the Dominican Republic.


1. Inception report (20 copies)
at the beginning of the field survey

2. Progress report (20 copies)
at the end of the field survey
3. Interim report (20 copies)
within two and a half (2.5) months after completion
of the field survey
4. Draft final report (20 copies)
within four (4) months after completion of the field
survey
5. Final report (50 copies)
within one and a half (1.5) months after the receipt
of the comments on the draft final report.

VII. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF THE DOMINICAN REPUBLIC


The Government of Dominican Republic shall accord privileges, immunities and other benefit to the JICA Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), and through the authorities concerned, take necessary measures to facilitate smooth conduct of the Study.

1. RTVD shall make necessary arrangements with the cooperation of other relevant organizations for the followings;
 - 1). to secure the safety of the Team.
 - 2). to permit the members of the Team to enter, leave and sojourn in Dominican Republic for the duration of their assignment therein, and exempt from alien registration requirements and consular fees.


- 
- 3). to exempt the members of the Team from taxes, duties, fees and any other charges on equipment, machinery and other materials brought into Dominican Republic for the conduct of the Study.
 - 4). to exempt the members of the Team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Team for their services in connection with the implementation of the Study.
 - 5). to provide necessary facilities to the Team for the remittance as well as the utilization of funds introduced into Dominican Republic from Japan in connections with the implementation of the Study.
 - 6). to coordinate visits to public organizations and places required for the Study.
 - 7). to give facilities all informations and data related to the Study and send these out of Dominican Republic to Japan.
 - 8). to arrange necessary transportation for the field survey.
 - 9). to provide medical services as needed, its expenses will be chargeable on the members of the Team.
2. The Government of Dominican Republic shall bear claims, if any arises, against the members of the Team resulting from, occuring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their duties in the implementation of the Study.

except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the members of the Team .

3. RTVD shall, at its own expense provide the Teams during the Study period with the following, in cooperation with other relevant regulations:

- 
- 1). available data and information related to the Study
 - 2). counterpart personnel for smooth transfer of technology
 - 3). suitable office space with necessary equipment in Dominican Republic
 - 4). credentials or identification cards

VIII. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF JAPAN



For the implementation of the Study, the Government of Japan will, in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan, through JICA, take necessary measures;

- 1). to dispatch, at its own expense, the Team to Dominican Republic.
- 2). to perform technology transfer to the Dominican counterpart personnel in the course of the Study.

IX. LANGUAGE

In case there is any divergence of interpretation of this Scope of Work, which is done in English and in Spanish, the English text shall prevail.








X. CONSULTATION


JICA and RTVD will consult with each other in respect of any matter that is not agreed upon in this document and any arise from or in connection with the Study.

A handwritten signature or set of initials, possibly 'M', enclosed in a large, irregular oval shape. Below the oval, there are several horizontal and diagonal lines, suggesting a signature or a stamp.

Annex

STUDY SCHEDULE (TENTATIVE)

Item	Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Field Survey											
Preparation of Interim and Draft Final Report											
Explanation of Interim and Draft Final Report											
Preparation of Final Report											
Report		Inception Report	Progress Report			Interim Report	Draft Final Report	Draft Final Report	Final Report		

 work in Dominican Republic

Remarks:

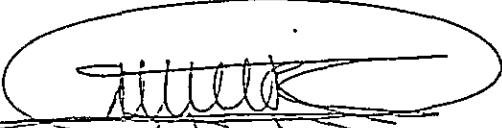
 work in Japan

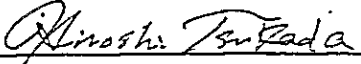
3. Alcance de Trabajos

ALCANCE DE TRABAJOS
PARA
EL PROYECTO DE LA RED DE RADIO Y TELEVISION CULTURAL NACIONAL
EN
LA REPUBLICA DOMINICANA

ACORDADO ENTRE
LA RADIO TELEVISION DOMINICANA
Y
LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON

Santo Domingo, abril de 1984


~~Lic. Esteban Mendoza~~
Director General
RADIOTELEVISION DOMINICANA
(RTVD)


Ing. Hiroshi Tsukada
Jefe de Misión
AGENCIA DE COOPERACION
INTERNACIONAL DEL JAPON
(JICA)

I. INTRODUCCION

En respuesta a la solicitud del Gobierno de la República Dominicana, el Gobierno del Japón ha decidido realizar el Estudio de Factibilidad del Proyecto de la Red de Radio y Televisión Cultural Nacional, que en lo adelante se denominará "El Estudio", de acuerdo a las leyes y reglamentos vigentes en el Japón.

La Agencia de Cooperación Internacional del Japón, que en lo adelante se denominará "JICA", organización oficial responsable de la implementación de programas de cooperación técnica del Gobierno del Japón, llevará a cabo el Estudio en estrecha cooperación con la Radiotelevisión Dominicana, que en lo adelante se denominará "RTVD", y demás autoridades relacionadas al Gobierno de la República Dominicana.

El presente documento constituye el Alcance de Trabajos de el Estudio arriba mencionado.

II. OBJETIVO DE EL ESTUDIO

Realizar el Estudio de Factibilidad para el establecimiento de estaciones de la Red de Radio y Televisión Cultural Nacional.

III. RESEÑA DE EL ESTUDIO

1. Zona de estudio

Todo el territorio nacional

2. Alcance del estudio

El estudio comprenderá trabajos de campo en la República Dominicana y análisis de las informaciones reunidas en el Japón.

El contenido de el Estudio cubrirá lo siguiente:

- 1). establecer las estaciones para la Red de Radio y Televisión Cultural Nacional.
- 2). modificar las facilidades existentes en relación al establecimiento de la Red Cultural.

Los trabajos que cubrirá el Estudio:

1). Trabajos de Campo

A. Colección de datos e informaciones.

a. Estadística general de población, educación economía, etc.

b. Leyes, reglamentos y ordenanzas relacionadas a la Radio y Televisión.

c. Organización y personal.

d. Plan de desarrollo de la Radio y Teledifusión.

e. Facilidades existentes.

- facilidades de transmisión

- facilidades de transmisión de programas

- facilidades de estudio

- otras facilidades

f. Otros datos

- mapa, servicio eléctrico, datos de meteorología, etc.

B. Estudio sobre el terreno

a. Condición presente de las facilidades existentes y otras facilidades.

b. Condición de la topografía.

c. Otras necesidades.

2). Trabajos de Análisis

A. Preparación de Alternativas.

- B. Identificación de un plan apropiado
 - a. Plan básico de administración
 - b. Planificación de programas
 - c. Plan de frecuencias
 - d. Plan de facilidades físicas
 - e. Selección de la ubicación
 - f. Plan de construcción
 - f. Plan de necesidades de personal
 - h. Estimado del costo de inversión inicial, administración, operación y mantenimiento
 - i. Recomendaciones para la administración y operación
 - j. Preparación del programa de ejecución.

- C. Evaluación
 - a. Análisis financiero
 - b. Análisis económico

IV. ITINERARIO DE EL ESTUDIO

El Estudio se llevará a cabo de acuerdo al itinerario de el Estudio (ver el Anexo).

V. INFORMES

JICA preparará y presentará los siguientes informes en inglés al Gobierno de la República Dominicana.

1. Informe Inicial (20 copias)
al comienzo de los trabajos de campo.
2. Informe Progresivo (20 copias)
al final de los trabajos de campo.

3. Informe Intermedio (20 copias)
dos meses y medio (2.5) después de terminado los trabajos de campo.
4. Borrador del Informe Final (20 copias)
cuatro meses (4) después de terminado los trabajos de campo.
5. Informe final (50 copias)
un mes y medio (1.5) después de recibir los comentarios sobre el borrador del informe final.

VII. CONTRIBUCIONES DEL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DOMINICANA

El Gobierno de la República Dominicana otorgará privilegios, inmunidades y otras facilidades, a las Misiones de Estudio del Japón, que en lo adelante se denominará "las Misiones", y a través de las autoridades competentes, tomará las medidas necesarias para facilitar la rápida ejecución de el Estudio.

1. RTVD hará cualquier arreglo necesario en cooperación con otras organizaciones competentes, para:
 - 1) Garantizar la seguridad de las Misiones.
 - 2) Permitir a los miembros de las Misiones, entrar, salir y permanecer en la República Dominicana durante el tiempo de su trabajo y eximirlos de los requisitos de registro y tarifas consulares exigidos a los extranjeros.




- 3). Eximir a los miembros de las Misiones del pago de aquellos impuestos, derechos, tarifas y otras cargas que incurrieren por traer a la República Dominicana equipos, maquinarias y otros materiales necesarios para la ejecución de el Estudio.
- 4). Eximir a los miembros de las Misiones del pago del impuesto a la renta y otras cargas de cualquier tipo que pudieren surgir en relación a los viáticos pagados a los miembros de las Misiones por sus servicios relativos a la implementación de el Estudio.
- 5). Proveer a las Misiones las facilidades de lugar para remitir así como para utilizar los fondos introducidos a la República Dominicana desde el Japón en relación a la implementación de el Estudio.
- 6). Coordinar visitas a los lugares y organismos públicos y privados, necesarios para la realización de el Estudio.
- 7). Facilitar a las Misiones todas las informaciones y documentos relacionados con el Estudio, así como el traslado de los mismos al Japón.
- 8). Proveer todo el transporte necesario para los trabajos de campo.




9). Garantizar la prestación de servicios médicos a las Misiones durante su estadía en la República Dominicana en el caso de que fuera necesario. Los gastos serán cubiertos por las Misiones.

2. El Gobierno de la República Dominicana se hará responsable de las reclamaciones, si se presenta alguna, contra las Misiones que pudieren surgir como resultante del cumplimiento de sus deberes, durante el mismo, o en relación con el mismo, salvo en caso de que los dos Gobiernos se pongan de acuerdo en que tales reclamaciones se originan de negligencia grave o mala conducta intencional por parte de los miembros de las Misiones.

3. En caso de que fuera necesario, RTVD proveerá a las Misiones a su propio costo y en cooperación con otras entidades pertinentes, lo siguiente:

- 
- 1). datos e informes disponibles relacionados con el Estudio.
 - 2). personal contraparte para la transferencia de tecnología.
 - 3). una adecuada oficina equipada en la República Dominicana.
 - 4). credenciales o documentos de identificación.



VIII. CONTRIBUCIONES DEL GOBIERNO DEL JAPON

El Gobierno del Japón, de acuerdo a las leyes y reglamentos vigentes en el Japón, tomará a través de JICA las

siguientes medidas necesarias para la ejecución de el Estudio.

- 1). Enviar por su cuenta a las Misiones de Estudio a la República Dominicana.
- 2). Implementar la transferencia de tecnología en el curso del Estudio al personal contraparte de la República Dominicana.

IX. LENGUAJE




















En caso de que surgiere cualquier divergencia de interpretación del presente Alcance de Trabajos, el cual está hecho tanto en inglés como en español, el texto en inglés prevalecerá.

X. CONSULTAS

JICA Y RTVD se consultarán mutuamente con respecto a cualquier asunto que no esté acordado en el presente documento que pudiere surgir en relación a el Estudio.

ANEXO

PROGRAMA DEL ESTUDIO (TENTATIVO)

Item	Mes	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Estudio en República Dominicana											
Preparación del Intermedio y Borrador Informe Final											
Explicación del Intermedio y Borrador Informe Final											
Preparación del Informe Final											
Informe											
		Informe de Inicial	Informe	Informe Progresivo	Informe del Intermedio	Borrador del Informe Final					



trabajos de campo



análisis en Japón

Notas: -

4. Minutes of Discussions

Minutes of discussions on Scope of Work for
Feasibility Study on the Radio and Television Development
Project in the Dominican Republic

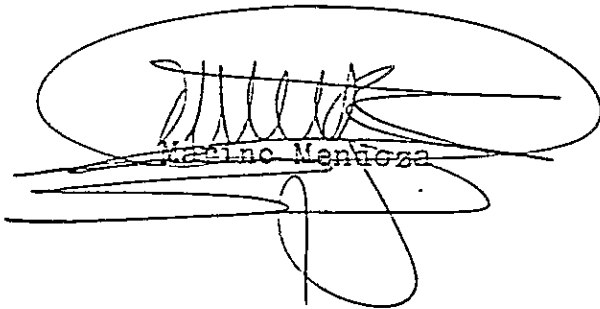
In response to the request of the Government of Dominican Republic, the Preliminary Study Team (the Team) was sent by the Japan International Cooperation Agency (JICA) to discuss a Scope of Work (S/W) for the Feasibility Study on the Radio and Television Development Project in the Dominican Republic.

The Study Team headed by Mr. Hiroshi Tsukada has stay in Dominican Republic from 1st to 11th April 1984, and made a series discussions with Radiotelevisión Dominicana (RTVD).


A list of attendance in the meeting is attached as Annex.

Draft of Scope of Work proposed by the Team was Discussed and agreed between the Team and RTVD minor modifications.

Santo Domingo April 6, 1984



~~Rafael Menéndez~~



Hiroshi Tsukada

Radiotelevisión Dominicana

Mr. Marino Mendoza	Director General RTVD
Mr. Lulio Moscoso Espinosa	Sub Director of RTVD, TV División
Mr. José Js. Díaz	Sub Director of RTVD, Radio Divisió
Mr. Cristian R. Then	
Mr. Facundo Michel	
Mr. Arístides Binet	

Preliminary Study Team

Mr. Hiroshi Tsukada	(Leader)
Mr. Seishin Ojima	(Member)
Mr. Koretaka Ogata	(Member)
Mr. Koichiro So	(Member)

5. Minutes de las Discussions

MINUTA DE LAS DISCUSIONES SOBRE EL ALCANCE DE TRABAJOS
PARA EL PROYECTO DE LA RED DE RADIO Y TELEVISION CULTU-
RAL NACIONAL EN LA REPUBLICA DOMINICANA

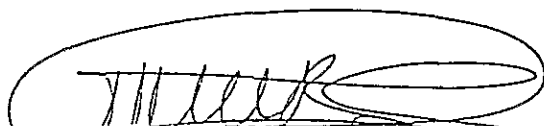
En respuesta a la solicitud del Gobierno de la República Dominicana, la Misión Preliminar del Estudio del Japón (la Misión) fue enviada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA) a fin de discutir el Alcance de Trabajos para el Proyecto de la Red de Radio y Televisión Cultural Nacional en la República Dominicana.

La Misión, encabezada por el Señor Ing. Hiroshi Tsukada permaneció en la República Dominicana desde el 1 al 11 de abril de 1984, y sostuvo una serie de discusiones con las autoridades de la Radiotelevisión Dominicana (RTVD).

La lista de los asistentes se detalla en el anexo.

El borrador del Alcance de Trabajos, propuesto por la Misión, fue discutido y aceptado por la Misión y la RTVD, con modificaciones menores.

Santo Domingo 6 de abril de 1984


Lic. Marino Mendoza


Ing. Hiroshi Tsukada

Radiotelevisión Dominicana

Mr. Marino Mendoza	Director General RTVD
Mr. Lulio Moscoso Espinosa	Sub Director of RTVD, TV División
Mr. José Js. Díaz	Sub Director of RTVD, Radio Divisió
Mr. Cristian R. Then	
Mr. Facundo Michel	
Mr. Arístides Binet	

Preliminary Study Team

Mr. Hiroshi Tsukada	(Leader)
Mr. Seishin Ojima	(Member)
Mr. Koretaka Ogata	(Member)
Mr. Koichiro So	(Member)

6. 現地事情

1) 国名

ドミニカ共和国（アンチル諸島にドミニカ国があるため、常にドミニカ共和国と称する）

Dominican Republic （英）

Republica Dominicana （西）

2) 歴史・地理

ドミニカ共和国は、1492年コロンブスの第1回目の航海によって発見され、スペインの植民地となり、その後1795年にはフランスによる統治下におかれ、1809年に独立した。しかし、その後ハイチの侵入・支配、スペインへの再併合、米軍の駐留を受けた後、1966年の臨時政府による総選挙を経て現在に至っている。

同国はカリブ海でキューバ島に次ぐ2番目に大きい島であるイスパニョーラ島をハイチと分けあい、同島の東部、約4分の3を占めている。

国土面積は、48,422km²であり、九州よりやや大きい。島の中央部は山岳地帯となっており、最高峰は、PICO DUARTE（3,087m）である。

海岸線は、さんご礁による白砂の海岸が多く、観光地となっている。

3) 気候

同国は北部熱帯圏に位置することから、年間を通じ高温である。雨期は5～6月と9～11月にあり、7～8月にはハリケーンに見舞われることがある。最近では1979年8月末に来襲したハリケーン（デービッド、フィデリコ）により大きな被害があった。12月～4月は北米や欧州から多くの観光客がおとずれる観光シーズンとなっている。

4) 国民

人口は563万人（1981年）であり、人種構成は白人16%、インディオ及び黒人11%、混血73%となっている。主要都市の人口は首都サントドミンゴが132万人、サンチャゴ26万人、ラ・ベガ16万人、サンクリストバル11万人となっている。宗教は国民の大部分がカソリック教徒であり、言語はスペイン語が公用語となっている。

）政治・行政

ドミニカ共和国は立憲共和制がしかれており、大統領の任期は4年となっている。大統領の任期は4年となっている。大統領は副大統領とともに国民選挙によって選出され、大統領府の名長官、各大臣を任命する。議会は、上院、下院の二院制であり、18才以上の有権者により選挙で選出される。

主要な政党は次のとおりである。

ドミニカ革命党	（PRD）	中道左派、与党
改革党	（PR）	中道右派
ドミニカ解放党	（PLD）	左派

民主キスケヤノ党 (PQD) 極右派

ドミニカ共産党 (PCD) 極左派

6) 経 済

ドミニカ共和国の経済成長率は1970～1974年の10%から1975～1980年の5%、1982年には約1.5%となっており1970年台の高度成長期から低成長期にはいったことを示している。

これは近隣の中南米諸国と同じ傾向を示しており、1980年台にはいつてからの第1次産品の価格の下落による影響が大である。

同国の主要な輸出品目としては、農産物で砂糖、コーヒー、ココア、タバコがあり、鉱業で金、銀、フェロニッケル、ボーキサイトがあり、第1次産品の輸出は約9割を占めている。

7) 交 通

ドミニカ共和国の陸上交通は道路交通のみである。主要国道は、サントドミンゴから北へ国道1号線、西へ2号線、東へ3号線、4号線がありほぼ完全舗装である。また地方道についても手入れがされており良好である。

サントドミンゴ市内では乗合タクシーが多数走っているが、行先がわからないため利用はむずかしい。レンタカー会社は数社あり車の程度は良好であった。

7. 収集資料リスト

- (1) Necessity and Purpose of Constructing National educational radio and television network in the Dominican Republic.
- (2) Listado de Frecuencias.
- (3) Plan Educativo Y Cultural de la Red Nacional de Radio Y Television para la Republica Dominicana.
- (4) Radiotelevision Dominicana Estados Financieros.
- (5) Informe General Sobre Programacion de Radio Actual Y Proyectos de Programas.
- (6) Estadistica Dominicana 1979-80 (Comunicaciones).
- (7) Lineamientos de Politica Economica Y Social Y Programa de Inversiones Pubalicas 1983-1985.
- (8) Sintesis de la Memoria Anual (Secretaria de Estado de Educacion Bell as artes Y Cultos)
- (9) 地図 25万分の1(全国)、道路地図

JICA

